

高崎市文化財調査報告書第202集

倉賀野駅北Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ遺跡

倉賀野駅北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2006

高崎市教育委員会

序

高崎市は、赤城・榛名・妙義の上毛三山を見渡せる、関東平野と北西の山々が会おうところに位置し、市内には周囲の山々の水を集めた大小の河川が流れ、遙か太平洋へと通じています。こうした地理的条件もあり、古くから人々の生活が営まれてきただけではなく、人々が行き交う交通の要衝としても重要な位置を占めてきました。今日でも上越新幹線・長野新幹線・関越自動車道等の高速交通網の整備により、北関東における「交通拠点都市」としての本市の担う役割は着実に増しており、更なる発展を目指すものであります。

しかし、文化的・創造的な都市を目指して躍進している高崎市もその歴史を紐解けば、数千年の昔から先人たちが生活を営み、英知を結集した、過去を知る上で貴重な文化遺産である数多くの埋蔵文化財が市内の至る所に残存しております。

本市の発展に伴う都市基盤整備事業や都市再開発事業推進の中で多くの埋蔵文化財が破壊と消滅の危機に瀕していることも事実です。

平成18年1月23日には、群馬町・箕郷町・新町・倉渕村との市町村合併も行われ、新生高崎市として新たな第一歩をスタートしたわけですが、私たちは先人たちの足跡、豊かな自然と薫る文化とともに暮らす「共生するまち」高崎市を未来の人々に伝え、残す責務を負っていると考えるでしょう。

本書で報告いたします倉賀野駅北遺跡は、倉賀野駅北土地区画整理事業に伴って行われた発掘調査の報告書であり、これまでの市内諸調査の結果と併せ、地域史解明の一助となることを願うものです。

最後になりましたが、本遺跡の調査に多大の協力を賜りました地元の皆様並びに関係諸機関の方々に厚く御礼を申し上げるとともに、発掘及び整理作業に携わった作業従事者の皆様に感謝の意を表しまして、序といたします。

平成18年3月31日

高崎市教育委員会

教育長 砂田 威夫

例 言

- 1 本報告書は、平成9年度から平成14年度にかけて実施された倉賀野駅北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
- 2 本遺跡は高崎市倉賀野町4577番地外に所在する。
- 3 本報告書は、高崎市文化財調査報告書第202集である。
- 4 平成9年度調査を第1次調査、以下平成14年度の第6次調査とした。調査主体は、高崎市教育委員会文化財保護課である。
- 5 高崎市の遺跡番号は以下のとおりである。
第1次：「倉賀野下天神Ⅱ（駅北Ⅰ）遺跡」（320）
第2次：「倉賀野下天神Ⅲ（駅北Ⅱ）遺跡」（328）
第3次：「倉賀野下天神Ⅳ（駅北Ⅲ）遺跡」（336）
第4次：「倉賀野下天神Ⅴ・下樋越Ⅰ（駅北Ⅳ）遺跡」（352）
第5次：「倉賀野下天神Ⅵ・下樋越Ⅱ（駅北Ⅴ）遺跡」（362）
第6次：「倉賀野下天神Ⅶ（駅北Ⅵ）遺跡」（370）
- 6 調査期間及び調査面積は以下のとおりである。
第1次調査 平成9年11月25日～平成10年³²⁰2月20日 調査面積 670㎡
第2次調査 平成11年1月12日～平成11年³²⁸3月19日 調査面積 930㎡
第3次調査 平成11年10月21日～平成12年³³⁶3月28日 調査面積 1,488㎡
第4次調査 平成12年11月2日～平成13年³⁵²3月27日 調査面積 2,678㎡
第5次調査 平成13年11月14日～平成14年³⁶²3月25日 調査面積 973㎡
第6次調査 平成14年11月1日～平成15年³⁷⁰3月25日 調査面積 799㎡
整理作業 平成17年6月1日～平成18年3月31日
- 7 調査組織は以下のとおりである。
高崎市教育委員会文化財保護課
課長 野尻 弘（平成10年度～平成14年度）、大塚 博（平成15年度～平成16年度）、高木三昭（平成17年度～）
課長補佐 神戸聖語（平成10年度～平成12年度、平成16年度～）、結城千尋（平成13年度～平成15年度）
調査担当
【発掘調査】 第1次：田村 孝・斎藤寛方 第2次：田村 孝・金井英一 第3次：田村 孝・

金井英一 第4次：池田 敬・金井英一 第5次：池田 敬・金井英一 第6次：金井英一・高橋 純

- 【整理作業】 吉田昌利・神澤久幸
- 8 本遺跡の発掘調査で得られた出土遺物・図面・写真等の資料は高崎市教育委員会が保管、管理している。
 - 9 本書の執筆・編集は吉田・神澤が分担して行い、遺物実測・拓本・挿図作成等は担当者の指示のもとに武井幸子・矢島なつ美・高林和子・小嶋明子・善知寺陽子が行った。
 - 10 本遺跡の発掘調査において、表土の掘削及び埋堀は井上リース株式会社、基準点測量は株式会社測量、横田調査設計、三守測量株式会社、空中写真撮影は株式会社テクノ、自然科学分析はバリノサーヴェイ株式会社、考古環境研究所、遺構平面図のトレス及び遺物実測は株式会社技術コンサル、前橋文化財研究所に委託した。分析結果については高崎市教育委員会が報告書を保管、管理している。
 - 11 遺構の写真は各調査担当者、遺物の写真は吉田・神澤が撮影した。
 - 12 発掘調査にあたり、地元関係者の方々及び高崎市役所都市整備部地区画整理課にご協力いただいた。

凡 例

- 1 本書に使用した地図は、1/2,500高崎市都市計画図と国土交通省国土地理院発行の1/25,000地形図である。
- 2 挿図中の北は座標北を示し、座標値は旧平面直角座標第IX系を使用した。また、挿図中のLは標高を示す。
- 3 遺構・遺物には次の記号を使用し、1からの通し番号で表記した。
SD＝堀・溝跡 SK＝土坑 SI＝住居跡
遺物＝＊
- 4 遺構平面図は、上端を太線、下端を細線で表現した。
- 5 土層及び土器の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版標準土色帖」を使用した。
- 6 テフラの表記には次の略称を用いた。
As-A（浅間A軽石：1783年）、As-B（浅間Bテフラ：1108年）、As-C（浅間C軽石：4世紀初頭）、Hr-FA（榛名ニッ岳火山灰：6世紀初頭）

目 次

序・例言・凡例

第Ⅰ章 経緯・経過	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の概要	1
1. 調査の方法	1
2. 調査の経過（作業日誌抄）	1
第Ⅱ章 遺跡の立地	1
第1節 遺跡の地理的環境	1
第2節 遺跡の歴史的環境	1
遺跡の位置図と周辺の遺跡	2
第Ⅲ章 調査の概要	3
Ⅰ 平成 9 年度 倉賀野下天神Ⅱ（倉賀野駅北Ⅰ）遺跡	3
Ⅱ 平成10年度 倉賀野下天神Ⅲ（倉賀野駅北Ⅱ）遺跡	3
Ⅲ 平成11年度 倉賀野下天神Ⅳ（倉賀野駅北Ⅲ）遺跡	4
Ⅳ 平成12年度 倉賀野下天神Ⅴ・下樋越Ⅰ（倉賀野駅北Ⅳ）遺跡	9
Ⅴ 平成13年度 倉賀野下天神Ⅵ・下樋越Ⅱ（倉賀野駅北Ⅴ）遺跡	11
Ⅵ 平成14年度 倉賀野下天神Ⅶ（倉賀野駅北Ⅵ）遺跡	11
第Ⅳ章 検出した遺構図版	13
第1次 倉賀野下天神Ⅱ（駅北Ⅰ）遺跡	13
第2次 倉賀野下天神Ⅲ（駅北Ⅱ）遺跡	15
第3次 倉賀野下天神Ⅳ（駅北Ⅲ）遺跡	20
第4次 倉賀野下天神Ⅴ・下樋越Ⅰ（駅北Ⅳ）遺跡	40
第5次 倉賀野下天神Ⅵ・下樋越Ⅱ（駅北Ⅴ）遺跡	54
第6次 倉賀野下天神Ⅶ（駅北Ⅵ）遺跡	61
出土遺物実測図	63
出土遺物観察表	77
遺構写真図版	81
遺物写真図版	88

第1章 経緯・経過

第1節 調査に至る経緯

発掘調査が行われた高崎市倉賀野町は、上越新幹線、関越自動車道の開通、国道17号線倉賀野バイパスの完成以来、様々な開発が行われ住宅化が著しい。開発に伴って数多くの遺跡が発見され、特に当遺跡周辺は条里制遺構が早くから確認されている地域である。今回の発掘調査は、倉賀野駅北地区面整理事業に伴うもので、事業に先立って、平成9年度から平成14年度までの6年次にわたり調査された遺跡である。

第2節 調査の概要

1. 調査の方法

浅間B軽石（As-B1108年 以下B軽石）までを機械で掘り下げた後、手作業で遺構確認を行って記録作業をした。また、調査区内に土層観察と下層の遺構確認のためのトレンチを掘り、土層堆積状態の観察、記録を行い、更にトレンチを利用してプラント・オパール等の自然科学分析を業者に委託して行った。遺構の測量は公共座標（第IX系）を基準にグリッドを設定して行った。遺構実測の原因は、平面図を1/40縮尺、土層図・エレベーション図を1/20で作成した。写真撮影は随時行い、モノクロームフィルムとカラーリバーサルフィルム各35mmを使用して撮影した。

2. 調査の経過（作業日誌抄）

[平成9年度調査] 11月25日重機掘削開始 28日遺構検出作業 12月3日遺構確認作業 [平成10年度調査] 1月13日重機掘削開始 19日1区遺構検出作業 25日2区遺構検出作業 10日トレンチ遺構検出作業 24日空中写真撮影 [平成11年度調査] 10月5日3区重機掘削開始 28日3区遺構検出作業 11月5日9～14トレンチ発掘作業 12月13日4区重機掘削開始 15日4区遺構検出作業 2月2日15トレンチ掘削作業 9日空中写真撮影 3月1日発掘器材搬出 [平成12年度調査] 11月7日1区重機掘削開始 12月7日5区遺構検出作業 11日4区掘削作業 20日7区遺構検出作業 1月10日8区遺構検出作業 23日空中写真撮影 2月26日6区遺構検出作業 20日10区・11区重機掘削開始 23日13区重機掘削開始 3月1日10区遺構検出作業 5日9区重機掘削開始 26日発掘器材搬出 [平成13年度調査] 11月26日1区重機掘削開始 12月10日2区重機掘削開始 12月3区・4区重機掘削開始 13日5区重機掘削開始 17日6区遺構検出作業 1月9日4区・5区トレンチ掘削作業 2月1日空中写真撮影 5日2区・4区2面遺構検出作業 8日6区3面遺構検出作業 12日3区2面遺構検出作業 3月6日空中写真撮影 8日発掘器材搬出、仮設事務所撤去 [平成14年度調査] 11月6日1区重機掘削作業 19日1区遺構検出作業 1月10日2区遺構検出作業 14日3区遺構検出作業 17日3区2面発掘作業 25日空中写真撮影 28日発掘器材搬出

第2章 遺跡の立地

第1節 遺跡の地理的環境

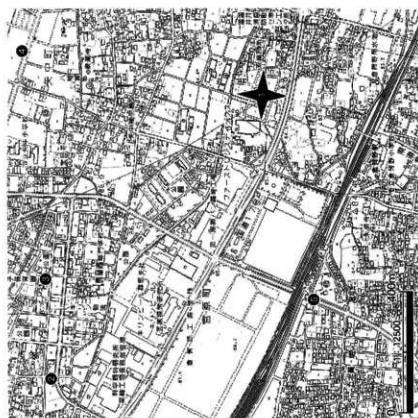
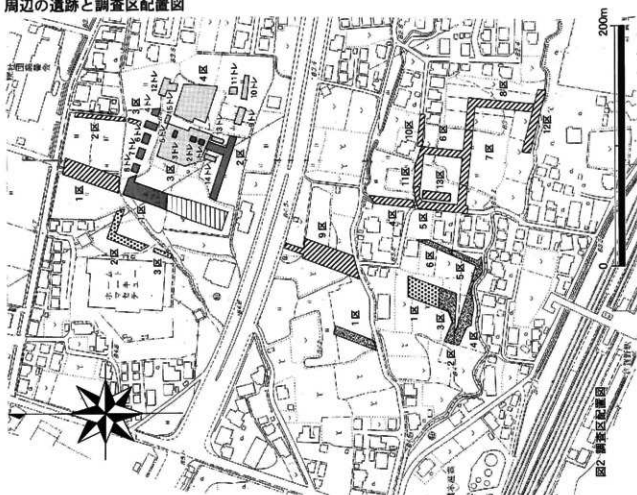
本遺跡は、烏川左岸段丘と井野川右岸段丘に挟まれた

微高地と低湿地が混在する低台地上に位置し、JR高崎線倉賀野駅から北0.4km、国道17号線倉賀野バイパス北側に隣接する高崎市倉賀野町字下天神及びJR高崎線倉賀野駅から北0.2km、国道17号線倉賀野バイパス南0.1kmの高崎市倉賀野町字下越越に所在する。

第2節 遺跡の歴史的環境

縄文時代の遺跡は、高崎市南西部に広がる観音山丘陵地帯や烏川、井野川などの中小河川沿岸の段丘状、礫水川、烏川に挟まれた洪積台地上において集落が検出されている。本遺跡より南西2.4kmには、中期から後期を中心とした集落が検出された下佐野遺跡、また、倉賀野福寺遺跡、倉賀野万福寺Ⅱ遺跡、北西2kmの下居条里遺跡において、中期後半加賀利E式期の住居跡が検出されている。弥生時代の遺跡は、本遺跡の北西2.8kmの中期後半土器を出土した幾馬場遺跡、西約3.8kmには中期後半土器の標式遺跡となる竜見町遺跡があるものの、ごく周辺には見当たらない。古墳時代になって突如現れるのが、石田川川の遺構・遺物である。矢中遺跡群、下中居条里遺跡、倉賀野福寺遺跡、下佐野遺跡、舟橋遺跡などで、微高地上にこの時期前期の集落や周溝墓が検出されている。特に倉賀野万福寺遺跡、倉賀野万福寺Ⅱ遺跡では周溝を含めた一辺が30mを超す大型の方形周溝墓や墳丘径が20mを超す前期円墳2基が検出されている。特に下佐野町から倉賀野町にかけての烏川左岸段丘上は、5世紀～7世紀までの約200年にわたり300基近い古墳群が存在した地域である。国史跡にも指定されている浅間山古墳、大鶴巻古墳をはじめ小鶴巻古墳、森山古墳などの前方後円墳は今もなおその姿を見ることができ、その他の中小規模古墳のほとんどは後世の開墾等によりその姿を消している。律令制の時代に入ってから、倉賀野周辺は、広く水田開発が行われたようで、下之城遺跡群、下中居条里遺跡群、矢中遺跡群では条里制と考えられる遺構が検出されている。平安時代末期の天仁元年（1108年）の浅間山大噴火に伴う火山灰（浅間B軽石）降下によって上野の地は壊滅的な被害を受け、耕地がほとんど放棄されたであろうことは、高崎市ほぼ全域で軽石が10～20cm以上の堆積を地層中に残すことから伺われる。その後しばらくしてこの荒廃した地に入り、堀を作って灌漑し、再開発したのが、封建制の下での武士団であった。これら武士団のひとつである武蔵七党のひとつ、児玉党の秩父高俊が治承文治年間（1180年頃）に倉賀野の地に依って倉賀野氏を称した。文献上この地がはじめて登場するのが、『吾妻鏡』の中の建久元年（1190年）の倉賀野三郎（秩父高俊）である。以後烏川左岸の要害であり、武蔵から上国に入る要衝の地であるここに倉賀野城及びその周辺を取り囲む倉賀野西城、上稲荷前屋敷、永泉寺の惣、倉賀野東城が築かれ、城下町として栄えたが、戦国時代に上杉、武田、北条の争いの渦に巻き込まれ、天正18年（1590年）倉賀野城は廃城になる。近世には、中山道の宿場町として、あるいは例幣使街道の分岐点として、そしてまた、利根川水運の河岸として栄えた。倉賀野は過去何度も襲った火山被害の痕跡が残るとともに、各時代の社会条件に制約を受けながらも、それに対峙した人々の足跡を知ることができる場所である。

周辺の遺跡と調査区配置図



- ① 倉賀野下天神遺跡
- ② 下中居米田遺跡
- ③ 矢中村橋遺跡
- ④ 矢中村北D・下村北Ⅱ・瀬ノ内遺跡
- ⑤ 倉賀野純経米田遺跡

第三章 調査の概要

I 倉賀野下天神Ⅱ遺跡 (320, 倉賀野駅北Ⅰ、平成9年度)

SD1は、全長15m、上端3.3~4.2m、下端0.4~0.7m、深さ0.7m、埋土にはB軽石は含まない。

SD2は、全長5m、上端0.8m、下端0.6m、深さ6cm、埋土にはB軽石を含む。

SD3は、全長8m、上端0.2~0.5m、下端0.2m、深さ8cm、埋土にB軽石を含む。

SD4は全長1.3m、上端0.2m、下端0.1m、深さ5cm、埋土はB軽石を含む。底部に跡痕と思われる穴跡。

SD5は、全長1.5m、上端0.25m、下端0.1m、深さ4cm、埋土にB軽石を含む。底部に跡痕と思われる穴跡。

SD6は全長1.1m、上端0.4~1.1m、下端0.2~0.8m、深さ20cm。

SD7~14は、全長いずれも2~4m、上端0.4~1.1m、下端0.2~0.8m、深さ4cm前後、埋土にB軽石を含む。

SD15は全長7.5m、上端0.2m、下端0.15m、深さ5cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

SK1は、SD1の上層に位置する。形は逆凸形、燃焼部は長方形長軸1.05m、短軸0.6m、深さ0.4m。断面は台形状で、焚き口は西側に位置、長さが0.55m、幅が0.25m、底部から約10cmの上層に焼骨片や炭、焼土が出土。燃焼部の壁は、赤く焼け、硬く締る。埋土にB軽石を含む。火葬墓跡。

SK2はSD1の上層に位置。ほぼ円形、上端径約0.6m、下端径約0.5m、深さ30cm、埋土にB軽石を含む。

SK3はほぼ円形、上端径約1.1m、下端径約0.8m、深さ10cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

SK4はほぼ円形、上端径約1.1m、下端径約0.9m、深さ25cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

SK5はほぼ円形、上端径約1.0m、下端径約0.8m、深さ20cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

SK6はほぼ円形、上端径約0.8m、下端径約0.7m、深さ10cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

SK7はほぼ円形、上端径約1.1m、下端径約0.9m、深さ10cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

SK8はほぼ円形、上端径約1m、下端径約0.9m、深さ15cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

SK9はほぼ円形、上端径約1.1m、下端径約0.9m、深さ25cm、埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。

ビット1:ほぼ円形、上端径約0.6m、深さ1.3m以上。埋土にB軽石と少量のA軽石を含む。上端から下10cmの層に多量のB軽石を含む層があったが、下層はB軽石を含まない。井戸跡と推定。ビット2:ほぼ円形、上端径約0.5m、下端径約0.3m、深さ4cm、埋土にB軽

石を含む。

調査区や南部分(x=33600~33605付近)を境に遺構面に変化が見られる。南半分は水田或いは畑と思われる。面上に耕作痕が検出された。不定形の凹形の穴跡も多数検出された。地形の変換点を境に南部の面が約10cm低い。跡痕は地形の変換点付近及び東壁付近に集中。

II 倉賀野下天神Ⅲ遺跡 (328, 倉賀野駅北Ⅱ、平成10年度)

【1区】

調査区の大部分、北半分が仮設鉄塔建設により壊されていたが、調査区中央部付近で、畦畔を検出。高さは数cm程度、幅は70cm前後で、かなり削平を受ける。

SD1は全長1.1m、上端は3.16m~3.38m、下端は0.8~1.18m、深さ15cm、埋土に純度の高いB軽石を含む。

SD4は全長1.1m、上端は3.16m~3.38m、下端は0.8~1.18m、深さ15cm、平瓦、丸瓦出土。

SK2はほぼ円形、上端径約1.1m、下端径約0.8m、深さ55cm、極が埋め込まれていた。瓦片や土管が出土。

SK3はほぼ円形、上端径約0.6m、下端径約0.4m、深さ26cm。

SK4は上端径約0.9m、下端径約0.8m、深さ15cm、西側部分でSK2に切られる。

SK5はほぼ円形、上端径約0.5m、下端径約0.15m、深さ15cm。

【2区】

現水田耕作面から約20cm下で地山(泥流層)が現れる。遺構の覆土からB軽石は確認できるが、部分的に残っているだけで、地山の上層にA軽石が含まれる箇所もある。畦畔は確認できなかった。後世の耕作によって削平されていると思われる。

SD2は全長5m、上端0.4m、下端0.3m、深さ18cm、埋土にB軽石を含む。

SD3は上端0.6m、下端0.4m、深さ20cm、埋土にB軽石を含む。

SD4は大部分が2区の北側で検出されたが、同区の東壁付近でも一部検出。走行方向から、一連の溝と考えられる。上端2.1m、下端0.5m、深さ60~70cm、溝は、西壁付近でSD5に、北側をSK10に壊される。埋土にB軽石を含む。瓦片、礫が多数出土。

SD5は全長3m、東西に0.5m、深さ25cm、南側でSD4を切り、北側でSD6と合流する。埋土にB軽石を含む。

SD6は全長6.7m、上端1.4m、下端0.4m、深さ40cm、南側は、SK10に壊される。西側でSD5と合流。調査区の東壁付近でSD4と合流すると思われる。埋土にB

軽石を含む。

ビット1:ほぼ円形、上端:20cm、深さ:20cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット2:ほぼ円形、上端:21cm、深さ:22cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット3:ほぼ円形、上端:17cm、深さ:13cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット4:楕円形、長径49cm、短径34cm、深さ:12cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット5:方形、長軸25cm、短軸:21cm、深さ:14cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット6:楕円形、長径51cm、短径34cm、深さ:24cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット7:楕円形、長径40cm、短径:30cm、深さ:12cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット8:楕円形、長径55cm、短径24cm、深さ:8cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット9:ほぼ円形、上端:15cm、深さ:4cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット10:楕円形、長径25cm、短径:16cm、深さ:4cm。埋土にB軽石を多量に含む。ビット11:ほぼ円形、上端:15cm、深さ:7cm。埋土にB軽石を多量に含む。

【2区1トレンチ】

SD8は上端:1m、下端:0.6m、深さ15cm。SE1は上端径:1.3m、下端径:0.6m、深さ:1.6m。SD8を切る。底部から70cmの上のB混土層下に粘性土層があり。

ビット1～6は埋土にB軽石が多量に混入。

【2区2トレンチ】

SK7は方形、長軸1.4m、短軸0.5m、深さ:10cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SE2 (駅北Ⅲを参照)

ビット1～11は埋土にB軽石を含む。

【2区3トレンチ】

SK8は長軸1.8m、短軸0.5m、深さ:30cm。埋土にA軽石を多量に含む。

ビット1は長軸0.4m、短軸0.3m、深さ:40cm。埋土にA軽石を含む。

【2区6トレンチ】

SD10は全長5.5m、上端:0.45～1.2m、下端:0.15～0.8m、深さ6cm。埋土にB軽石を含む。

SD11は全長5.3m、上端:0.45m、下端:0.15m、深さ:22cm。埋土にB軽石を含まない。B軽石降下以前の溝と推定。

【2区4～7トレンチ】

B軽石降下以降の水田跡と推定される耕作面を検出。

【2区8トレンチ】

SD12は全長4.7m、上端0.4m、下端0.3m、深さ:6cm。埋土に少量のA軽石とB軽石を含む。SD13と合流する。

SD13は東西方向と南北方向に走行する溝で、SD12と合流する。埋土にB軽石を含む、少量のA軽石が混入。

ビット1～3は埋土にB軽石を含む、少量のA軽石が混入する。

Ⅲ 倉賀野下天神IV遺跡 (336、倉賀野駅北Ⅲ、平成11年度)

【3区1面】

SD8は10年度調査の2区3トレンチのSD8に続くと推定。全長:35m。平瓦片、羽釜 (遺物番号7、8) が出土。

SD28は全長:3.9m、上端0.6m、深さ10cm。埋土に少量のB軽石を含む。北端でSK54繋がる。

SD29は全長4.6m、上端0.5～1.1m、下端0.3～0.8m、深さ:4cm。埋土にはB軽石を多量に含む。西側でSD8と合流する。SK33、118で切られ、東壁付近でビット、上坑に切られる。自然軸の須恵器蓋片が出土。

SD31は全長5m、上端0.6～1m、下端0.3～0.6m、深さ:16cm。SK57で切られ、東側でSE2に切られる。

SD32は全長5.5m、上端1.1m、下端0.5m、深さ:22cm。SD33は全長6.5m、上端0.7m、深さ:38cm。溝の西でSK42、114に切られる。

SD34は全長8.2m、上端0.6～0.8m、下端0.3～0.5m、深さ:50cm。溝の西でSK37、39で切られる。

SD35は全長15.5m、上端0.8m、下端0.5m、深さ:14cm。SK85、101、112、119に切られ、SK127、128を切る。土師器甕片が出土。

SD36は全長19.8m、上端0.7～1.2m、下端0.4～0.7m、深さ:30cm。須恵器片が出土。

SD37は全長19.5m、上端2.1～2.5m、下端0.3～0.7m、深さ:50cm。埋土から10cm下にB混土層。SK121、

130、131に切られ、SD38を切る。須恵器長頸壺片 (遺物番号9) が出土。

SD38は全長4m、上端0.5～0.7m、下端0.2～0.5m、深さ:18cm。北をSD36、SK96に切られ、SK105を切る。南でSD37に合流する。

SK31は長軸1.4m、短軸1.2m、深さ:20cm。埋土にB軽石を多量に含む。SK81を切る。陶磁器片が出土。

SK32は方形、長軸1.2m、短軸0.9m、深さ10cm。埋土にB軽石を含む。

SK33はほぼ円形、径:0.9m、深さ10cm。埋土にB軽石を多量に含む。SD29を切る。

SK34は方形、長軸1.8m、短軸1.1m、深さ45cm。埋土にB軽石を多量に含む。土師器片、須恵器片が出土。

SK35は方形、長軸1.1m、短軸0.7m、深さ9cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK36は方形、長軸1.1m、短軸0.73m、深さ8cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK37は楕円形、径:0.8m、深さ12cm。埋土にB軽石を多量に含む。北側SK43に切られる。土師器片が出土。

SK38はいびつな方形。長軸:1.1m、短軸:0.9m、深さ:9cm。埋土にB軽石を含む。土師器片が出土。

SK39は長軸:1.35m、短軸:1.1m、深さ:24cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK40は楕円形、長軸:1.15m、短軸:0.92m、深さ:25cm。埋土にB軽石を含む。

SK41は長軸:1.6m、短軸:1.48m、深さ:20cm。埋土にB軽石を含む。

SK42は方形と考えられるが、SD33とSK114と重複。重複関係は不明。SK43に切られる。長軸:1.5m、短軸:0.95m、深さ:16cm。埋土にB軽石を含む。

SK43は方形、長軸:1.5m、短軸:1.05m、深さ:25cm。埋土にB軽石を含む。SK42に切れ、SK37を切る。SK45はほぼ円形、径:1.1m、深さ:9cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK46は長軸:0.9m、短軸:0.8m、深さ:10cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK47は方形、長軸:1.25m、短軸:0.85m、深さ:20cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK48は方形、長軸:1.3m、短軸:0.7m、深さ:8cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK49は方形、長軸:0.7m、短軸:0.43m、深さ:9cm。埋土にB軽石を含む。

SK50は三角形、長軸:0.85m、短軸:0.65m、深さ:8cm。埋土にB軽石を含む。

SK51は方形、長軸:1.4m、短軸:0.95m、深さ:18cm。SK52は長軸:0.8m、短軸:0.4m、深さ:8cm。埋土にB軽石を含む。

SK53は長軸:0.8m、短軸:0.65m、深さ:25cm。埋土にB軽石を含む。

SK54はほぼ円形、径:1.25m、深さ:1.4m。SD28に合流する。埋土にB軽石を含む。井戸跡と推定。陶器片が出土。

SK55は楕円状で、長軸:2.4m、短軸:2.1m、深さ:1.75m。埋土にB軽石を含む。SD28に合流する。井戸跡と推定。南側に幅25cm前後の浅い溝が作られているが、SK55との関りは不明。須恵器甕片が出土。

SK56は楕円形、長軸:2.7m、短軸:2.2m、深さ:1.07m。埋土にB軽石を含む。丸瓦片(遺物番号5)、陶磁器片が出土。

SK57は楕円状、長軸:0.8m、短軸:0.6m、深さ:21cm。埋土にB軽石を含む。SD31を切る。

SK59は方形に近い形、長軸:0.38m、短軸:0.33m、深さ:18cm。

SK60は方形、長軸:0.55m、短軸:0.4m、深さ:36cm。底部から10cm上の層に多量のB軽石を含む。

SK61は方形、長軸:1.65m、短軸:0.95m、深さ:12cm。

SK62は楕円形、長軸:0.95m、短軸:0.65m、深さ:7cm。SK63は方形、長軸:2.8m、短軸:1m、深さ:4cm。

SK64は方形、長軸:0.75m、短軸:0.6m、深さ:30cm。

SK65はほぼ円形、径:0.74m、深さ:10m。

SK66は方形、長軸:1.6m、短軸:0.9m、深さ:10cm。北部分をSK95に切られる。土師器片が出土。

SK67は方形、長軸:1m、短軸:0.85m、深さ:18cm。東側の一部をビットに切られる。

SK68は方形、長軸:1.3m、短軸:1.05m、深さ:9cm。埋土に少量のB軽石を含む。SK69に切られる。

SK69は方形、長軸:1.35m、短軸:0.95m、深さ:25cm。南でSK68を切る。須恵器片が出土。

SK70は方形、長軸:1.05m、短軸:0.75m、深さ:10cm。

SK71は方形、長軸:1.05m、短軸:0.75m、深さ:10cm。南でSK73を切る。

SK72は方形、長軸:1.1m、短軸:0.78m、深さ:15cm。東でSK73を切る。

SK73は方形、長軸:2.1m、短軸:0.77m、深さ:14cm。北部分をSK71、72に切られる。土師器片が出土。

SK74は方形、長軸:1.04m、短軸:0.8m、深さ:27cm。東部分でSK73と接する。

SK75は崩れた方形、長軸:1.2m、短軸:0.91m、深さ:14cm。ビットと重複していた。

SK76は崩れた方形、長軸:1.05m、短軸:0.8m、深さ:6cm。

SK77はやや崩れた方形、長軸:0.83m、短軸:0.64m、深さ:23cm。

SK78は方形、長軸:1.25m、短軸:1.03m、深さ:33cm。

SK79は崩れた方形、長軸:1.3m、短軸:0.72m、深さ:25cm。

北部分でSK119を切る。須恵器甕片が出土。

SK80は楕円形、長軸:0.88m、短軸:0.61m、深さ:7cm。埋土に少量のB軽石を含む。

SK81は方形、長軸:1.55m、短軸:0.93m、深さ:13cm。南の一部をSK31に切られる。

SK82は方形であるが、東をSK83に切られる。長軸:1.7m、短軸:0.85m、深さ:15cm。土師器片が出土。

SK83は方形、長軸:1.57m、短軸:0.98m、深さ:17cm。西でSK82を切り、SK84と重複。重複関係は不明。

SK84は方形、長軸:1.8m、短軸:0.99m、深さ:20cm。

西のSK83と重複するが、重複関係は不明。

SK85は方形、長軸:1.9m、短軸:1.05m、深さ:26cm。

南のSD35を切る。埋土にB軽石の混入はないが、上層にB軽石混土層。土師器片、須恵器片が出土。

SK86は方形、長軸:1.52m、短軸:0.93m、深さ:18cm。遺構面から7cm下の埋土にB軽石を含む。

SK92は楕円形、長軸:0.9m、短軸:0.72m、深さ:26cm。遺構面から4cm下までの埋土にB軽石を含む。

SK93は楕円形、長軸:2.45m、短軸:1.7m、深さ:1.82m。

遺構面から17cm下までの埋土にB軽石を含む。井戸跡と推定。東部分でSK111を切る。

SK94は方形、長軸0.95m、短軸0.4m、深さ24cm。須恵器破片が出土。

SK95は方形、長軸1.3、短軸0.83m、深さ10cm。南部分でSK66を切る。

SK96は方形、長軸0.9、短軸は北部分でSD38に切られるため不明、深さ12cm。

SK97は楕円形、長軸1.7m、短軸1.25m、深さ30cm。SK98と重複。重複関係は不明。

SK98は方形、長軸1.22、短軸0.98m、深さ20cm。SK97と重複。重複関係は不明。須恵器壺片が出土。

SK99は方形、長軸1.23m、短軸0.46m、深さ37cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK100は方形、長軸0.62、短軸0.4m、深さ38cm。

SK101は楕円形、長軸1.04m、短軸0.74m、深さ10cm。北部分でSD35を切る。

SK102は方形、長軸1.67、短軸1m、深さ28cm。西部分でSK103を切る。羽釜片、須恵器片が出土。

SK103は方形、長軸1.3m、短軸0.82m、深さ20cm。東部分をSK102に切られる。

SK104はほぼ円形、径2.7m、深さ17cm。埋土にB軽石を含む。東部分をSK120に切られる。

SK105は崩れた方形、長軸2.5m、短軸1.25m、深さ19cm。

SK106は楕円形、長軸0.71m、短軸0.57m、深さ30cm。埋土にB軽石を含む。

SK107は崩れた方形、長軸1.5m、短軸1.3m、深さ17cm。埋土にB軽石を含む。

SK108は崩れた方形、長軸1.87m、短軸1.05m、深さ15cm。

SK110は楕円形、長軸0.78m、短軸0.67m、深さ30cm。土師器片が出土。

SK111は火葬跡と思われる。逆凸形、燃焼部は隅丸方形、長軸1.32m、短軸0.55m、深さ46cm。断面は方形に近い。焚き口は西に位置、長さは0.5m、深さ20～45cmで西に行くほど上る。骨片、桃種、炭が多数出土。焚き口は先端でSK93に切られる。自然科学分析結果参照。

SK112は火葬跡と考えられる。丸隅方形、長軸0.78m、短軸0.62m、深さ9cm。底部付近で骨片、炭が出土。SD35を切る。自然科学分析結果参照。

SK113は崩れた方形、長軸0.75m、短軸0.57m、深さ20cm。埋土にB軽石を含む。

SK114は方形、長軸1.6m、短軸1m、深さ22cm、SD33とSK42に重複する。重複関係は不明。

SK116は方形、長軸1.7m、短軸1.3m、深さ27cm。

埋土にB軽石を含む。西部分をSD8に切られる。

SK117は方形、長軸0.9m、短軸0.7m、深さ28cm。

SK118は方形、長軸1.3m、短軸1m、深さ30cm。埋土にB軽石を多量に含む。SD29を切る。

SK119は方形、長軸2.64m、短軸1.13m、深さ26cm。南東部をSK79で切られる。SD35を切る。

SK120は火葬跡と考えられる。逆凸形、燃焼部は方形、長軸1.9m、短軸0.94m、深さ17cm。焚き口は東側に位置、長さ25cm、幅24cm。底部から10cm程の層はほとんどが炭で、その上の埋土にはB軽石混土層。骨片、炭が出土。SK104を切る。自然科学分析結果参照。

SK121は楕円形、長軸3.06m、短軸2.67m、深さ127m。調査面から30cm下の層にB軽石の1次堆積層及びB軽石混土層を含む。土師器片、須恵器片が出土。

SK122は崩れた方形、長軸1.07m、短軸0.68m、深さ5cm。覆土は炭を主体とし、骨片も混入。火葬跡か。

SK123は方形、長軸1.3m、短軸0.85m、深さ13cm。埋土にB軽石を含む。

SK124は方形、長軸1.3m、短軸0.97m、深さ20cm。埋土にB軽石を含む。

SK125は一部が調査区外に出る。方形、長軸1.2m、短軸0.9m、深さ17cm。

SK127は方形、長軸1.15m、短軸0.4m、深さ8cm。埋土にB軽石を含む。SD35、SK128に切られる。

SK128は楕円形、長軸0.55m、短軸0.38m、深さ19cm。埋土にB軽石を含む。SD35に切れ、SK127を切る。

SK129はほぼ円形、径0.4m、深さ22cm。埋土にB軽石を含む。

SK130は方形、長軸1.65m、短軸0.6m、深さ25cm。北部分でSD37を切る。

SK131はほぼ方形、長軸0.77m、短軸0.62m、深さ24cm。SD37を切る。

SK132は隅丸の方形、長軸0.84m、短軸0.53m、深さ7cm。埋土に焼土と炭を含む。酸化焼成の須恵器壺（遺物番号6）が出土。

SE1では須恵器鉢が出土。

SE2では土師器片、須恵器片が出土。

【4区1面】

SD39は全長22.5m、上端1.6～2.3m、下端0.95～1.4m、深さ62cm。埋土にB軽石を含む。裏が多量に混入。

SD46、47、51を切る。内耳鍋（遺物番号25）、丸瓦（遺物番号26）、平瓦（遺物番号27）出土。

SD40は全長8.2m、上端1.6～2.3m、下端0.6～1.4m、深さ18cm。SK138を切る。東でSK161と接する。

SD41は全長4.7m、上端0.3～0.5m、下端0.2～0.35m、深さ6cm。

SD42は全長1.9m、上端0.28～0.55m、下端0.18～

0.32m、深さ5cm、SK161に切られる。須恵器片が出土。

SD45は全長2.5m、上端0.34～0.48m、下端0.2～0.3m、深さ1.9cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SD46は全長4.1m、上端0.66m、下端0.58m、深さ7cm、SD39に切られる。

SD47は全長5.64m、上端0.8～1.4m、下端0.45～0.9m、深さ16cmである。SD39に切られる。

SD48は全長2.0m、上端0.4～1.1m、下端0.25～0.5m、深さ53cm。SK163を切り、SK160に切られる。垂（遺物番号28）出土。

SD49は全長3m、上端0.82～0.92m、下端0.35～0.52m、深さ30cm。SK162、現況水路に切られる。

SD50は全長15.2m、上端2m、下端1.6m、深さ43cm、SD51を切る。

SD51は全長22m、上端1.3～2.4m、下端0.7～1.2m、深さ42cm。自然河川。北側付近で西へなだらかに広がる。

SK133は方形、長軸1.4m、短軸0.7m、深さ7cm。須恵器片、土師器片が出土。

SK134は方形、長軸2.4m、短軸0.95m、深さ35cm。土師器片、灰軸陶器が出土。

SK135は楕円形、長軸1m、短軸0.7m、深さ30cm。土師器片が出土。

SK136は楕円形、長軸0.9m、短軸0.7m、深さ88cm。埋土上層にB軽石を含む。井戸跡と推定。須恵器片、土師器片が出土。

SK137はSK144と重複する。火葬跡と考えられる。逆凸形。燃焼部は方形で、長軸0.83m、短軸0.45m、深さ20cm。断面は長方形に近い。焚き口は東側に位置。長さが20cm、深さ20cm。埋土にB軽石を含む。底部は赤く焼け、骨片、炭が出土。須恵器片、土師器片が出土。自然科学分析結果参照。

SK138は楕円形、長軸1.2m、短軸1.1m、深さ15cm。SD40に切られる。

SK139は方形、長軸0.78m、短軸0.45m、深さ9cm。SK140は推定楕円形、長軸1.6m、短軸1.1m、深さ21m。

埋土の上層部にB軽石、礫を含む。須恵器片、土師器片が出土。井戸跡と推定。

SK141は推定楕円形、長軸1m、短軸0.55m、深さ30cm。S字甕片が出土。

SK142は二つの土坑が重なっている可能性あり、長軸1.4m、短軸1.1m、深さ62cm。

SK143は楕円形、長軸1.24m、短軸0.8m、深さ35cm。埋土上層にB軽石を含む。

SK144は楕円形、長軸3.5m、短軸2.8m、深さ2.65m。埋土にB軽石を含む。井戸跡と推定。SK137に切られ

る。須恵器片、灰軸陶器片、鏝（遺物番号11）が出土。自然科学分析結果参照。

SK145はほぼ円形に近い。径0.9m、深さ20cm。

SK146は逆円形に近い。長軸1.18m、短軸0.95m、深さ23cm。土師器片が出土。

SK147は楕円形に近い。長軸1.13m、短軸0.95m、深さ12cm。

SK148は楕円形に近い。長軸1.05m、短軸0.82m、深さ47cm。SD39の埋土を掘り込む。

SK149はほぼ円形に近い。径0.85m、深さ40cm。SD39の埋土を掘り込んでいる。

SK150は方形、長軸1.2m、短軸0.5、深さ20cm。中央部にビット有り。

SK151は土城基と考えられる。方形、長軸1.3m、短軸0.7m、深さ27cm。歯、鎌（遺物番号12）、小刀（遺物番号13）が出土。

SK152はほぼ円形に近い。径0.6m、深さ25cm。埋土にB軽石を含む。

SK153の形状は不明。長軸0.7m、短軸0.3m、深さ50cm。埋土にB軽石を含む。

SK154は円形、径0.5m、短軸1.1m、深さ85cm。

SK155は方形、長軸1.07m、短軸0.54m、深さ15cm。S字甕片が出土。

SK156は方形、長軸1.1m、短軸0.85m、深さ7cm。須恵器片（遺物番号14）が出土。

SK157は方形、長軸1.2m、短軸0.78m、深さ12cm。SK158は楕円形、長軸2.5m、短軸1.75m、深さ22cm。

埋土に焼土、炭粒を含む。S字甕片、須恵器片（遺物番号15）、須恵壺（遺物番号16、17）、須恵壺（遺物番号18）が出土。

SK159は方形に近い形、長軸1.02m、短軸0.95m、深さ17cm。土師器片、須恵器片が出土。

SK160は円形、径0.9m、深さ1.3m。丸瓦片、平瓦片、須恵器片が出土。井戸跡と推定。

SK161は楕円形、長軸0.78m、短軸0.53m、深さ21cm。SD40と接し、SD42を切る。須恵壺（遺物番号19）

SK162は南でSK165と重複している。同時期の遺構と推定される。長軸2.4m、短軸2.05m、深さ74cm。埋土にB軽石を含む。平瓦片、内耳鍋片、土師器片、須恵器片が出土。

SK163は方形、長軸3.5m、短軸1.34m、深さ13cm。埋土にB軽石を含む。SD48とSK167に切られる。土師器片が出土。

SK164は方形、長軸1.6m、短軸0.97m、深さ22cm。歯、鉄製品、須恵器片（内黒）が出土。

SK165はSK162を参照。平瓦片、須恵器鉢片が出土。SK166は楕円形に近い、長軸1.83m、短軸1.65m、深

さ:20cm。

SK167は方形、長軸0.9m、短軸0.7m、深さ:32cm。埋土にB軽石を含む。SK163を切る。

SK168は方形、長軸0.98m、短軸0.7m、深さ:12cm。埋土にB軽石を含む。

SK169は楕円形、長軸2.3m、短軸2m、深さ:1.4m。推定井戸跡、須恵埴（遺物番号20、21）、須恵甎（遺物番号23）、羽釜（遺物番号22）が出土。

SK170は楕円形、長軸0.75m、短軸0.45m、深さ:10cm。埋土にB軽石を含む。

SK171は楕円形、長軸1.4m、短軸1.1m、深さ:24cm。平瓦片、羽釜片等が出土。

SK172は方形、長軸1.6m、短軸0.85m、深さ:25cm。埋土にB軽石を含む。須恵器破片が出土。

SK173は長軸1.9m、短軸1.2m、深さ:85cm。形は不明。S字瓦片、土師器片が出土。

SK174は長軸2m、短軸0.5m。溝跡の可能性有り。

SB9は、桁行2間、梁行2間。桁方向3.7m、梁方向2.7m、北梁行の柱穴をSB10と共有する。柱穴は、直径:20~40cm、深さ:11~26cm。軸線は、N-70°-W。SB10と軸方向が同じであるため、SB10と同じ建物になるか。

SB10は、桁行3間、梁間2間。柱穴は桁方向西が5本、東が4本、梁行方向北が5本、南が3本。軸線はSB9と同じ。柱穴の直径は20~40cm、深さ:16~40cm。SB11は、桁行3間、梁間2間。柱穴は桁方向北が5本、南が4本、梁行方向西が4本、東が3本。北に底、柱穴は5本。軸線は、N-25°-E。柱穴は直径20~65cm、深さ:5~44cm。

SB12は桁行2間、梁行2間。軸線はほぼ南北方向。柱穴は、梁行方向西に4本、東に3本。

ビット1:土師器片（遺物番号24）、須恵器片出土、ビット2:土師器片出土、ビット4:土師器片出土、ビット3:土師器片、須恵器片出土。（順不同）

SE3はほぼ円形、長軸1.9m、短軸1.7m、深さ:1.55m。

【9トレンチ1面】

SD15は全長1.1m、上端0.8~1.3m、下端0.2~0.6m、深さ:30cm。埋土に礫、B軽石を含む。SD30、SK44を切り、SK17、20に切られる。甎、古銭2枚（祥符元宝、文字不読）、土師器片、須恵器片が出土。

SD16は全長6.9m、上端0.4~0.65m、下端0.2~0.5m、深さ:20cm。埋土にB軽石を含む。礫石、土師器片、須恵器片が出土。SD30、SK19、58を切り、SK17に切られる。

SD17は全長7.6m、上端0.5~0.7m、下端0.3~0.5m、深さ:20cm。埋土にB軽石を含む。南で土坑に切られ、SD21、30を切る。土師器片と炭の付着した石が出土。

SD21は全長2.7m、上・下端は不明、深さ:10cm。埋土にB軽石を多量に含む。SD17に切られる。かわらけ出土。

SD30は全長3.5m、上端0.7~0.9m、下端0.4~0.6m、深さ:20cm、SD15、16、17に切られる。

SK11は楕円形、長軸1.04m、短軸0.5m、深さ:20cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK13は崩れた方形、長軸0.67m、短軸0.64m、深さ:23cm。埋土にB軽石を多量に含む。φ5~10cm大の石数個が出土。

SK14は楕円形、長軸1.03m、短軸0.5m、深さ:14cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK15は崩れた方形、長軸0.8m、短軸0.5m、深さ:9cm。埋土にB軽石を多量に含む。

SK17は方形、東西が0.8m、南北が1.4m、深さ:30cm。SD15を切る。古銭6枚（洪武通宝、元豊通宝、祥符元宝、文字不読が2枚）平瓦が出土。埋土は不明。

SK18は楕円形、長軸2.2m、短軸1.5m、深さ:1.35m。SD20を切る。礫石（遺物番号33）

SK19は楕円形、長軸0.92m、短軸0.73m、深さ:50cm。埋土にB軽石を含まず。SD15、16に切られる。北でSK58に繋がっている。歯が出土。土壌層の可能性有り。

SK20は崩れた方形、東西が0.9m、南北が1.14m、深さ:50cm。埋土にB軽石を含む。骨片、甎、古銭9枚（元豊通宝、永樂通宝、朝鮮通宝、宣徳通宝、文字不読が4枚）、板碑（遺物番号32）が出土。土壌層と考えられる。SD15を切る。

SK44は西壁に、推定楕円形。長軸0.88m、短軸0.8m、深さ:1.2m。埋土に礫（43個）を多く含む。井戸跡と推定。SD15に切られる。

SK58は楕円形、長軸1.9m、短軸0.68m、深さ:50cm。南でSK19に連結、SD15に切られる。

ビット1:円に近い楕円形、径10cm、深さ:15cm。古銭1枚（北宋銭）、歯が多数出土。土壌層と考えられる。ビット2:東西径50cm、南北径60cm、深さ20cm。歯が多数出土。土壌層と考えられる。ビット3:楕円形、東西径50cm、南北径30cm、深さ15cm。φ10cm大の石数個が出土。ビット4:ほぼ円形、径25cm、深さ28cm。

【10トレンチ1面】

SD14は全長5.02m、上端1.9~3m、下端0.35~0.75m、深さ:70cm。埋土の35cm下はB軽石の純度が高い。東でSD2に切られる。丸瓦片、平瓦片、白が出土。

SD18は全長6.1m、上端0.6~0.7m、下端0.1~0.35m、深さ:18cm。埋土は粒子の細かい川砂様の砂質土を含む。SD19を切る。土師器片が出土。

SD19は全長6m、上端0.2~0.4m、下端0.1~0.4m、深さ:14cm。やや南に湾曲しながら東南部の隅で終わる。

中央部をSD18に切られる。SK18に西部部分を壊される。

SD20は全長:1.8m、上端:0.35m、下端:0.25m、深さ:15cm。西部部分をSK18に切れ、東部分をSD18に連なる。

SD22は全長:10.2m、上端:1.03m、下端:0.35m、深さ:47cm。SD14を切る。須恵器甕片、内耳鍋が出土。SD23は全長:1.5m、上端:0.32m、下端:0.26m、深さ:14cm。SK22に切られる。

SK12は長軸1.5m、短軸0.6m、深さ:3.5cm。土師器片が出土。

SK16は長軸2.5m、短軸0.75m、深さ:20cm。土師器片が出土。

SK18楕円形、長軸2.1m、短軸1.65m、深さ:1.3mである。井戸跡と推定。SD19、29と接する。平瓦片、内耳鍋片が出土。

SK21は長軸1.5m、短軸1.1m、深さ:2m。井戸跡と推定。平瓦片、丸瓦片が出土。

SK22は半月状で、長軸3.94m、短軸1.2m、深さ95cmである。SD27と接続する。

SK23は楕円形、長軸0.94m、短軸0.5m、深さ:6cmである。土師器片が出土。

【12トレンチ1面】

SD24は全長:14.2m、上端:0.64~0.99m、下端:0.2~0.3m、深さ:26cm。埋土に礫を多く含む。SD25と平行する。

SD25は全長:11m、上端:0.4~1.1m、下端:0.8~1m、深さ:17cm。SD24と平行。

SD26は全長:6.8m、上端:0.8~1m、下端:0.39~0.68m、深さ:35cm。SD24、25と平行し、SK29を切る。

SK24はほぼ円形、径:1.1~1.2m、深さ:25cm。埋土のB軽石を含む。

SK25は円に近い楕円形、径:0.8~1m、深さ:36cm。SK26は長軸1m、短軸0.5m、深さ44cm。埋土にA軽石を含む。

SK27は長軸1.8m、短軸0.9m、深さ57cm。埋土にA軽石を含む。

SK28は楕円形、長軸1.1m、短軸0.66m、深さ22cm。埋土にA軽石を含む。

SK29は長軸0.9m、短軸0.6m、深さ10cm。SD26に切られる。

SK30は楕円形、長軸0.76m、短軸0.45m、深さ12cm。

【13トレンチ1面】

SD4は全長:2.62m、上端:2.2m、下端:0.9~1.5m、深さ:60cm。下天神Ⅲ遺跡2区のSD4と繋がる。埋土にB軽石を含む。

SK87は楕円形、長軸1.3m、短軸0.94m、深さ26cm。

埋土にB軽石を含む。

SK88は長軸1m、短軸0.71m、深さ14cm。埋土にB軽石を含む。

SK89は長軸1.07m、短軸0.71m、深さ37cm。埋土に礫、B軽石を含む。SK90を切る。

SK90は長軸1.28m、短軸0.87m、深さ14cm。埋土に少量のB軽石を含む。SK89に切れ、南でSK91に接する。

SK91は長軸0.88m、短軸0.62m、深さ25cm。埋土にB軽石を含む。西部部分を断割りて壊され、SD4で切られる。

【14トレンチ1面】

SD4は全長:2.48m、上端:1.47~1.82m、下端:0.25~0.45m、深さ:54cm。倉賀野下天神Ⅲ遺跡2区のSD4と繋がる溝である。埋土にB軽石を含む。溝の断面は箱葉研か。

SK109は長軸1.22m、短軸0.7m、深さ40cm。

【15トレンチ】

SD43は全長:8.6m、上端:0.68~1.05m、下端:0.4~0.82m、深さ:20cm。酸化焼成の須恵器環が出土。

SD44は全長:3.4m、上端:0.3m、下端:0.25m、深さ:12cm。

IV 倉賀野下天神V・下樋越Ⅰ遺跡 (352、倉賀野駅北Ⅳ、平成12年度)

【1区】

SD1は全長:31.2m、上端:0.56~1m、下端:0.2~0.72m、深さ:16cm。埋土にB軽石を含まない。調査区中央やや北側でSD2、3に枝分かれする。B軽石堆積後の溝跡。

SD2は全長:9m、上端:0.4~0.5m、下端:0.12~0.24m、深さ:14cm。調査区中央部付近で、SD1から西に曲がる。B軽石降下後の溝跡である。

SD3は全長:11m、上端:0.4m、下端:0.1~0.28m、深さ:17cm。SD2に繋がる。

SD7は全長:5m、上端:2.4m、下端:2m、深さ:1m。中央部付近でSD8とSD9に分かれ、東へ向かう。

SD8は全長:9m、上端:2m、下端は不明、深さ:90cm。SD9は全長:4.5m、上端:0.45~1m、下端は0.05m、深さ:17cm。SD7から分かれる溝。

SD10は全長:5.3m、上端:0.6~1m、下端は不明、深さ:55cm。SD7と接続。

【4区】

SD1は一部が調査区外(5区)に続く。全長:36m、上端:1.3~4m、下端:0.36~1.2m、深さ:62cm。埋土上層にA混土層、この下層には黒色粘質土があり、溝埋没後から現在までの耕作面と考えられる。また、溝の東側に楕円と考えられるビット列があった。

SK1は長軸1.1m、短軸0.9m、深さ23cm。SD1を切る。

SK2は長軸1.14m、短軸0.44m、深さ40cm。SD1を切る。

SK3は長軸1m、短軸0.8m、深さ40cm。

楕円のビット：楕円形、径10~40cm、深さ10~20cm。

【5区1面】

SD1は全長5.5m、上端0.4m、下端0.2m、深さ10cm。

SD2は全長5.5m、上端1m、下端0.3m、深さ20cm。

SD3は全長12m、上端0.7m、下端0.3m、深さ22cm。

【5区2面】

SI1は長軸2.4m（残存部）、短軸1.6m（残存部）。N-10°-W。

SD4は全長51.3m、上端26m、下端は不明、深さ116m。

SD4集石遺構はA混土層下から検出。全長約5m、幅70cm。石はSD4の東周から底部にかけて置かれ、祭祀に関連があると考えられる。

SE1は径2.2m、深さ60cm（湧水で底部まで掘削できず）。開口部に円形状に石が配列。埋土にも多数の石を含む。

【6区2面】

SI1は長軸5m、短軸4m（残存部）。N-20°-W。南西隅に焼土。

SI2は長軸7m、短軸3.5m（残存部）。西壁寄りに北向きのカマド。

SI3は長軸5m、短軸3.5m（残存部）。東側をSI2に切られる。

SI4は長軸4.5m、短軸3m（残存部）。N-45°-W。北壁寄りに北西のカマド。

【7区】

SD1は全長4m、上端4.5m、下端2.4m、深さ1.02m。

SD2は全長4m、上端2.3m、下端1.1m、深さ53cm。

SD3は全長4m、上端3.9m、下端2.3m、深さ1.15m。

SK5は方形、長軸0.95m、短軸0.5m、深さ13cm。

SK6は円に近い楕円、径0.9m、深さ14cm。

SK7は長軸1.24m、短軸0.48m、深さ8cm。

SK8は長軸1.24m、短軸0.48m、深さ8cm。

SK9は方形、東の一部をビットで切られる。長軸1.1m、短軸0.2m、深さ32cm。

SK10は長軸2.55m、短軸1.48m、深さ18cm。埋土に炭粒が混入。

SK11は長軸1.35m、短軸0.93m、深さ32cm。埋土に礫を含む。

SK12は長軸2.9m、短軸0.93m、深さ70cm。

SK30は楕円形、長軸1.05m、短軸0.77m、深さ29cm。埋土に礫を含む。

【8区】

SD1は全長4.86m、上端3.5~4m、下端0.78~0.96m、

深さ90cm。

SD2は全長5.1m、上端6.6~8.2m、下端4.5~5.3m、深さ87cm。埋土に水生堆積層を含む。

SD3は全長4.8m、上端1~1.44m、下端0.17~0.38m、深さ55cm。SD4、SK14に切られる。

SD4は全長39.8m、上端0.48~0.92m、下端0.18~0.5m、深さ28cm。埋土にB軽石を含む。SD5、6、7に接続し、SD3、9を切る。

SD5は全長4m、上端0.46~0.56m、下端0.25m、深さ23cm。北側でSD4に切られる。

SD6は全長10m、上端0.35~0.65m、下端0.25~0.4m、深さ19cm。北側でSD4に切られる。

SD7は全長8m、上端0.4~0.6m、下端0.25~0.35m、深さ17cm。北でSD4に切られる。SD6と平行。

SD8は全長4.8m、上端3.5~4m、下端1.1~1.3m、深さ1.15mである。

SD9は全長4.75m、上端0.88~1.1m、下端0.46~0.9m、深さ45cm。溝の断面は箱溝形。SD4に切られる。

SK10は長軸1.57m、短軸1.2m、深さ40cm。

SK14は長軸0.75m、短軸0.62m、深さ2.1m。底部から漆椀、内耳鍋底部片が出土。SD3を切る。

SK17は長軸1.6m、短軸1.2m。

SE1はほぼ円形、径1.4m、深さ2m。埋土にB軽石を含む。板碑が出土。

ビット81：長軸0.57m、短軸0.48m、深さ45cmである。礫、炭、焼土が出土。火葬墓か。

【9区】

SD1は全長9.8m、上端0.9~2m、下端0.2~0.45m、深さ35cm。溝の底部にB軽石の1次堆積層有り。

SD2は全長5.1m、上端1m、下端0.7m、深さ20cm。埋土にA軽石を含む。

SD3は全長8.3m、上端2m、下端1.2m、深さ80cm。埋土にB軽石を含む。

SD4は全長10m、上端0.35~0.65m、下端0.25~0.4m、深さ19cm。B軽石1次堆積層下から検出。

SD5は全長6.8m、上端0.45~0.68m、下端0.18~0.4m、深さ7cm。B軽石1次堆積層下で検出。

SD6は全長5.8m、上端0.5~1m、下端0.15~0.65m、深さ8cm。B軽石1次堆積層下で検出。

SD7は全長8.5m、上端0.6~0.85m、下端0.1~0.5m、深さ5cm。B軽石1次堆積層下で検出。

SD8は全長8.5m（推定）、上端0.5~1m、下端0.15~0.4m、深さ7cm。B軽石1次堆積層下で検出。

SD9は全長8.5m、上端0.35~1.3m、下端0.15~0.5m、深さ13cm。B軽石1次堆積層下で検出。

SD10は全長7m（残存部）、上端0.7m~1.1m、下端0.25~0.5m、深さ8cm。B軽石1次堆積層下で検出。

SD11は全長5.8m、上端0.7～1m、下端0.3～0.65m、深さ6cm。B軽石1次堆積層下で検出。

SD12は全長35m（残存部）、上端0.5～0.75m、下端0.4～0.5m、深さ9cm。埋土にB軽石混土層を含む。

SD13は全長35m（残存部）、上端0.5～0.7m、下端0.1～0.35m、深さ9cm。埋土にA軽石を含む。

SD14は全長7m、上端0.42～0.58m、下端0.15～0.3m、深さ8cm。埋土にA軽石を含む。

SD15は全長6.5m、上端1.8～2.2m、下端0.4～0.7m、深さ20cm。埋土にB軽石の1次堆積層を含む。

V 倉賀野下天神VI・下樋越II遺跡（362、倉賀野駅北V、平成13年度）

【1区1面】

現耕土直下は、A軽石混土層である。A軽石混土層下の面で南西から北東方向の耕作痕を検出。耕作痕は、調査区の南部分に集中し、南西から北東方向に列をなす。鋤痕の幅20～30cm、深さ数cm。A軽石の混入、畑跡か。

【1区2面】

B軽石混土層下で水田跡を検出した。畦畔は検出できず。水田面に不定形な凹み有り。凹みはSD1より北側に集中。人と思われる足跡も確認できたが、歩行方向は不明。

SD1は全長7.8m、上端1.8m、下端0.2～0.5m、深さ85cm。埋土にB軽石は含まない。埋土層にB軽石の1次堆積層。層序の観察からB軽石降下（1108年）以前に自然に埋没していたと思われる。

SD3は全長6m、上端1～1.5m、下端0.3～0.8m、深さ20cm。埋土にB軽石が混入。

【2区1面】

SD4は中央部付近で東西方向から南北方向を向く。全長8.6m、上端0.2～0.3m、下端0.1～0.2m、深さ25cm。埋土に炭粒が混入。

SD9は上端の東肩が遺構外に出るため計測不能、下端1.2m、深さ不明。両肩がなだらかに傾斜する。

ビット4:長軸0.7m、短軸0.4、深さ5cm。ビット5:長軸0.8m、短軸0.35、深さ25cm。

【3区1面】

B軽石混土層下で東西方向の耕作痕と溝跡状遺構を数条検出した。

【3区2面】

SD9は一部が調査区外（2,3,4区）にまたがる。全長1m、上端2.5m、下端0.8～1m、深さ40cm。B軽石降下以下の溝。埋土にはC軽石、FAが混入。SD10と繋がる。

SD10は一部が調査区外（4区）に続く。詳細不明。深さ40cm。埋土はSD9と同じ。SD9と繋がる。

SK3は長軸2.4m、短軸1.2m、深さ20cm。埋土にB軽石が混入。

【4区1面】

B軽石混土層下で不定形の凹みを多数検出した。畦畔は未検出だが、水田跡と考えられる。

SD6は4,5区にまたがる。南は調査区外で現水路として残る。作り変えて使用されてきた溝と思われる。底部付で内耳鍋片が出た。

SK2は長軸2.4m、短軸1.5m、深さ40cm。埋土にA軽石を含む。

【4区2面】

SD9は全長18m、上端2～4m、下端0.95～1.85m、深さ55cm。

SD11は全長5.3m、上端0.7～1.4m、下端0.25～0.85m、深さ75cm。

【5区1面】

SD8は全長3m、上端2.85～3.4m、下端0.6～1.7m、深さ95cm。

SD12は全長3m、上端5.65m、下端4.5m、深さ75cm。

【6区1面】

A軽石混土下で、南北のA軽石の復旧坑を検出した。坑の底部に楕円形、半月形の鋤痕。

【6区2面】

SD5は全長5m、上端0.8～0.9m、下端0.6～0.7m、深さ13cm。

SD7は全長5.6m、上端0.8～1.1m、下端0.4～0.7m、深さ20cm。

SK1は長軸0.9m、短軸0.55m、深さ23cm。

【6区3面】

SI2:長軸1.8m（残存部分）、短軸1.1m（残存部分）。N-22°-W。

SI3:長軸2.95m、短軸1.1m（残存部分）。

SI4:長軸2.8m（残存部分）、短軸0.5m（残存部分）。

VI 倉賀野下天神VII遺跡（遺跡番号370、倉賀野駅北VI、平成14年度）

【1区】

SD1は全長約48m、上端9.2m、下端0.96m。埋土の上層部にA軽石を、中層よりやや下にB軽石を含む層。

【2区】

耕作痕:A軽石混土層下から北西から南東方向の耕作痕を調査区の南部で検出。

SD3は全長1.48m、上端1.2～0.92m、下端0.38m、深さ43cm。肩がなだらかに傾斜。埋土にB軽石を含む。

SD4は全長1.53m、上端0.42m、下端0.09m、深さ42cm。北壁付近の底部及び西の肩に鋤痕。埋土にA、B軽石を含まず。

SD5は全長:1.41m、上端:0.24m、下端:0.18m、深さ:10cm。埋土にA軽石を含む。

SD6は全長:0.93m、上端:0.2m、下端:0.4m、深さ:34cm。底部に多数の鰯痕。

SD7は全長:1.53m、上端:0.22~0.31m、下端:0.11m。底部に半月形の鰯痕。埋土は砂質土でA、B軽石を含まず。

SD8は全長:1.43m、上端:0.12~0.18m、下端:0.1~0.17m、深さ:6cm。

【3区】

SD10は全長:0.54m、上端:1.21m、下端:0.83m、深さ:57cm（湧水のため完掘できず、最深部の数値ではない）。埋土の上層にA軽石を含む。B軽石を多く含む層を挟んで上下にB軽石混土層があった。

自然科学分析結果（抜粋）

下天神Ⅲ遺跡

【テフラ分析】

6トレンチにおけるテフラ分析から年代の古い順にAs-C、Hr-FA、Hr-FP、As-Bのテフラ粒子が検出された。

【イネのプラント・オブバル分析】

2トレンチでは、As-B層直下で3700個/gと高い数値で、稲作の可能性が高い。

6トレンチでは、As-B層直下からAs-C直上層まで3000~3800個/gと高い数値で稲作の可能性が高い。

【堆積環境の推定】

稲作が開始される以前の遺跡周辺は、ヨシ属などが育成する湿地的な環境であると考えられる。As-C混土層もしくはAs-C直上層の時期には、湿地的環境を利用して水田稲作が開始されたと考えられる。

下天神Ⅵ・下樋越Ⅲ遺跡

【SD9覆土のテフラ分析】

年代の古い順にAs-C、Hr-FA、As-Bが検出された。（As-Cの年代観については従来、4世紀中葉とされてきたが、3世紀後半或いは3世紀終末とする説があるが、定説とはなっていない）

【平安時代住居跡床面出土の炭化材の樹種同定】

ブナ科（クリ、シイ属、コナラ属コナラ節のいずれか）とタケ亜科の2種類であった。

【土坑（土壇墓）出土炭化材及び種実の同定】

SK111では、落葉広葉樹3種（ヤナギ属、クリ、エノキ属、モモ）、種実もモモである。炭化材は遺跡周辺に育成していた樹木を燃料材として利用した可能性が考えられる。

SK112ではエノキ属、SK120ではモモ、SK137ではクリが単一種類で確認された。年代の違いなのか、時期の違いで利用できる樹種が異なるのかなど、何故一種類であるのか不明である。

【井戸内土壌の花粉分析】

木本花粉ではマツ属、サワグルミ属・クルミ属、コナラ属アガシ亜属が1個検出された。草本花粉ではイネ科、ヨモギ属、キク亜科が多く、サナエダ節・ウナギツカミ節、マメ科、トウダイグサ科、タンポポ科などであった。以上から、井戸の周りは、イネ科やキク科の植物が育成し、開かれた草地であったと考えられている。また、花粉化石分析を併せて行った。花粉化石が存在する可能性はあるが試料の保存状態が極めて悪く未検出であった。井戸内の花粉化石は、周辺に育成していた母植物に由来した局地的なものの反映していると考えられる。

出土土について、紙面の制約のため掲載資料を限定しなければならなかった。未掲載資料は高崎市教育委員会が管理保管しているので、ご覧になりたい方は下記の連絡先まで、ご一報ください。

高崎市教育委員会教育部文化財保護課 埋蔵文化財担当

電話：027-321-1292

第IV章 検出した遺構の図版

第1次

倉賀野下天神II(駅北I)遺跡

図3 1区平面図

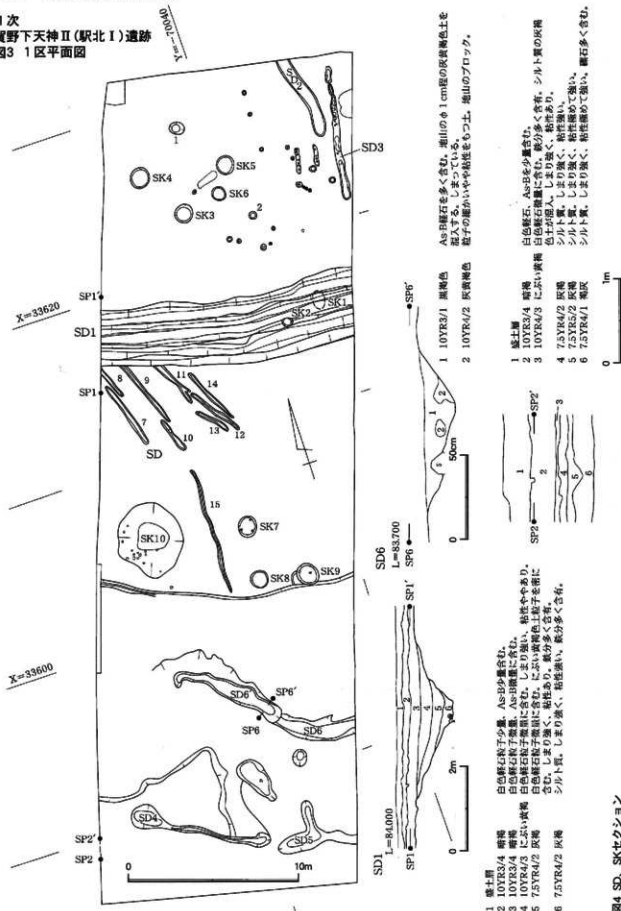


図4 SD、SKセクション

SK1土坑墓

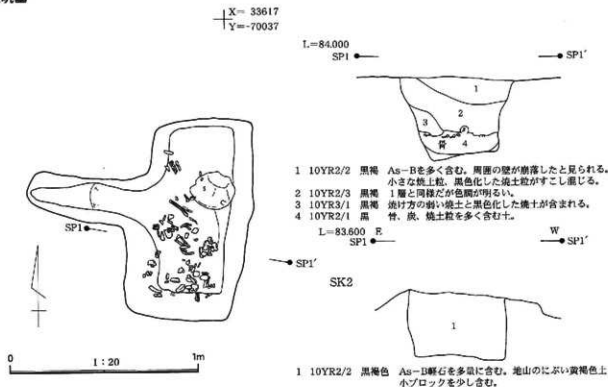


図5 SK1炭・骨出土状況 および SK2セクション



図6 B軽石 混土層下輪跡平面図

第2次 倉賀野下天神Ⅲ（駅北Ⅱ）遺跡

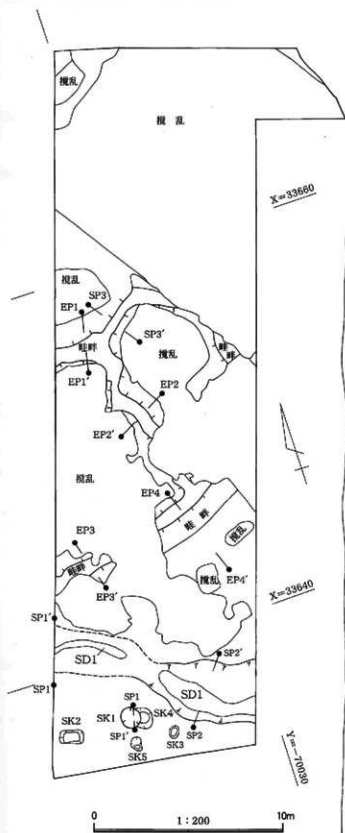


図7 1区平面図

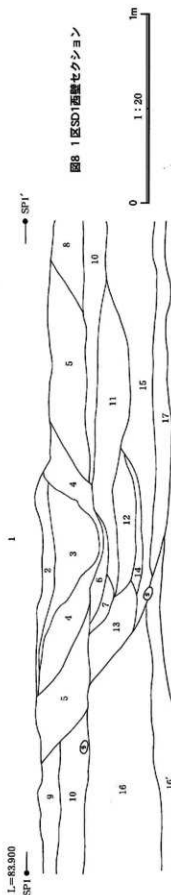


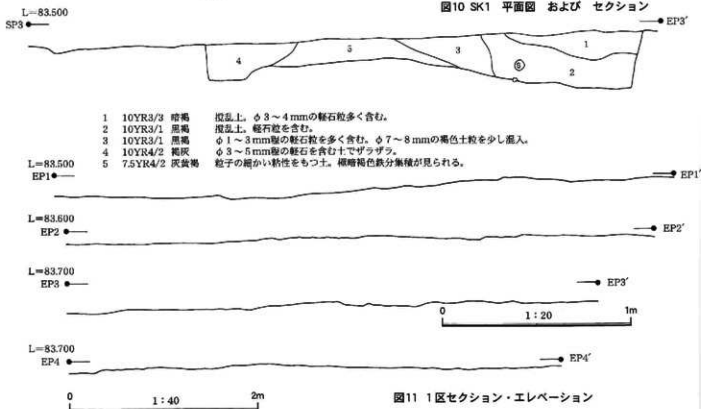
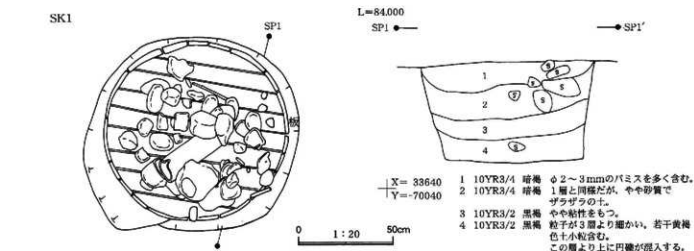
図8 1区SD1西壁セクション

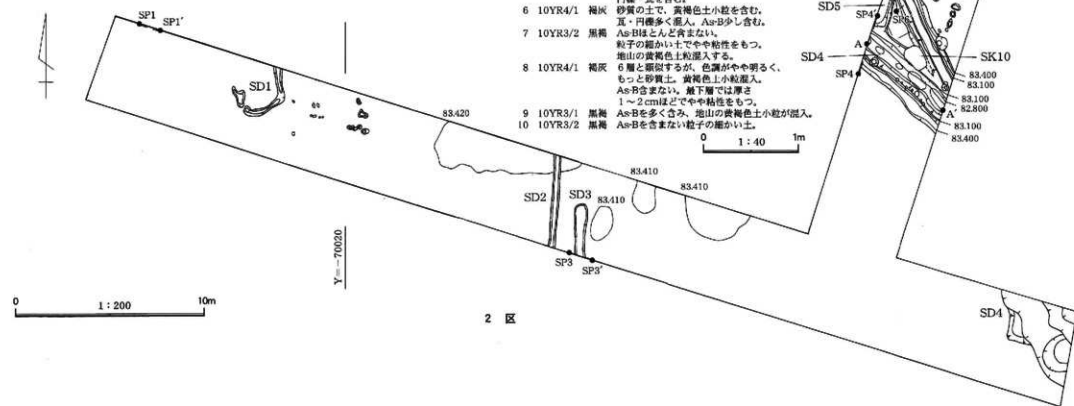
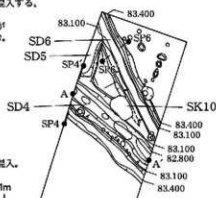
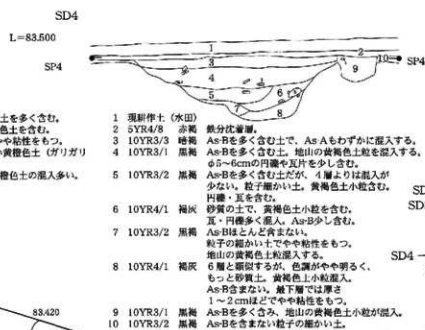
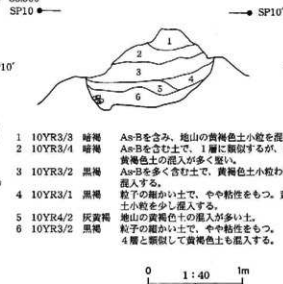
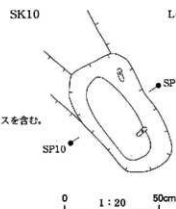
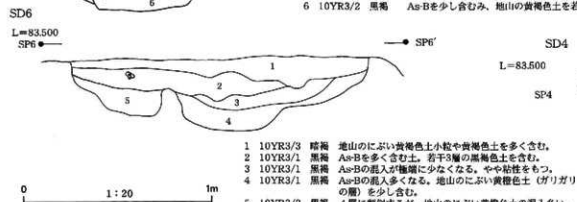
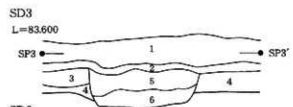
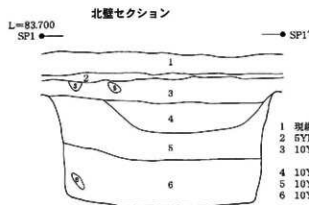
- 1 埋蔵土
2 10YR3/2 黒土 灰土の混ざり合った層
3 10YR3/1 灰土 灰土の混ざり合った層
4 10YR3/2 黒土 灰土の混ざり合った層
5 10YR3/3 黒土 灰土の混ざり合った層
6 4～5mmの礫石と黒褐色土層を含む
7 6mm以下のミミズ穴の多い層
8 6mm以下のミミズ穴の多い層
9 10YR3/2 黒土 灰土の混ざり合った層
10 10YR3/4 黒土 灰土の混ざり合った層
11 10YR3/1 灰土 灰土の混ざり合った層
12 10YR4/2 灰土 灰土の混ざり合った層
13 10YR4/2 灰土 灰土の混ざり合った層
14 10YR4/1 灰土 灰土の混ざり合った層
15 10YR4/1 灰土 灰土の混ざり合った層
16 7.5YR4/2 灰土 灰土の混ざり合った層
17 7.5YR4/1 灰土 灰土の混ざり合った層
18 10YR4/1 灰土 灰土の混ざり合った層

SD1



SK1





X=33620

Y=69980



X=33600

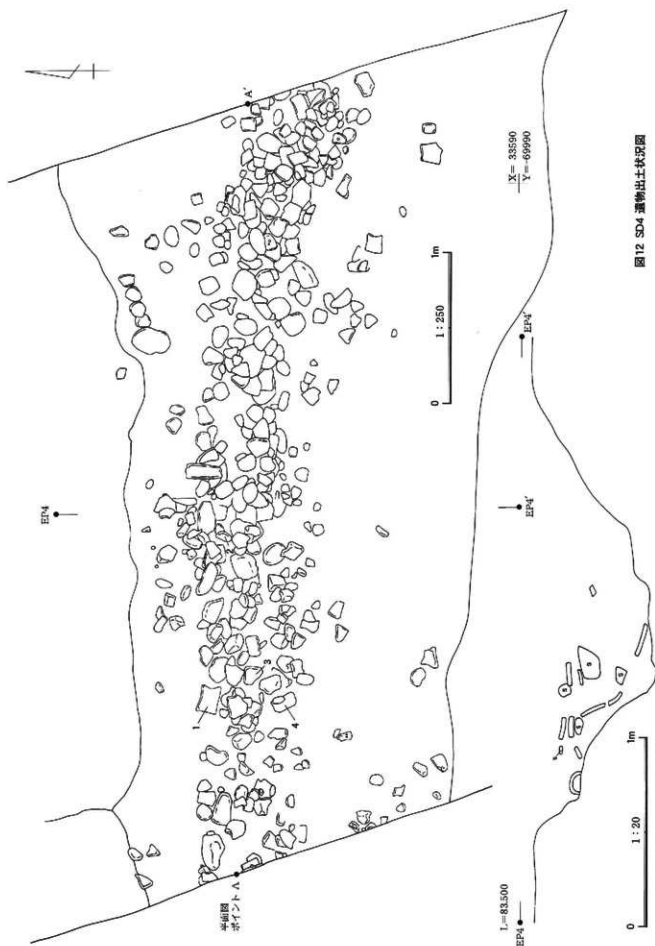
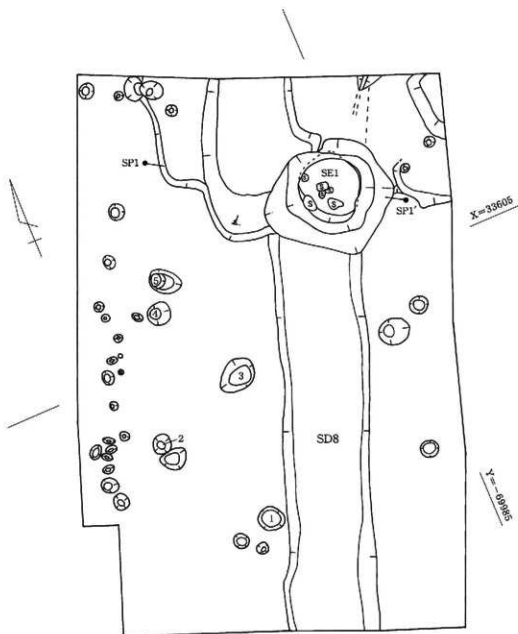
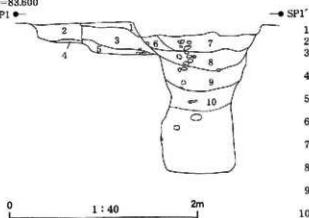


図12 SD4 遺物出土状況図



SE1
L=83.600
SP1



- 1 10YR4/4 褐 砂質土。As-Bを多く含む。
- 2 10YR3/3 暗褐 砂質土。As-Bと黄色土粒を含む。
- 3 10YR3/3 暗褐 As-B、黄色土粒。小粒石をわずかに含む。
- 4 10YR3/2 黒褐 As-B、5 mm程度の軽石がわずかに混入する。
- 5 10YR3/3 暗褐 As-Bをわずかに含む。黄色土粒を多く含む。
- 6 10YR3/3 暗褐 As-Bと黄色土粒を若干含む。
- 7 10YR3/3 暗褐 As-Bと黄色土粒を多く含む。
- 8 10YR3/3 暗褐 As-Bと黄色土粒が7層より若干減り、やや湿った土でしまりが無い。
- 9 10YR2/3 黒褐 As-Bと黄色土粒をごくわずかに含む。湿った砂質土でやや粘性がある。
- 10 10YR2/2 黒褐 As-Bを含まない土で、十分湿っており、やや粘性がある。

図13 1トレンチ平面図 および SE1セクション

第3次 倉賀野下天神IV (駅北III) 遺跡

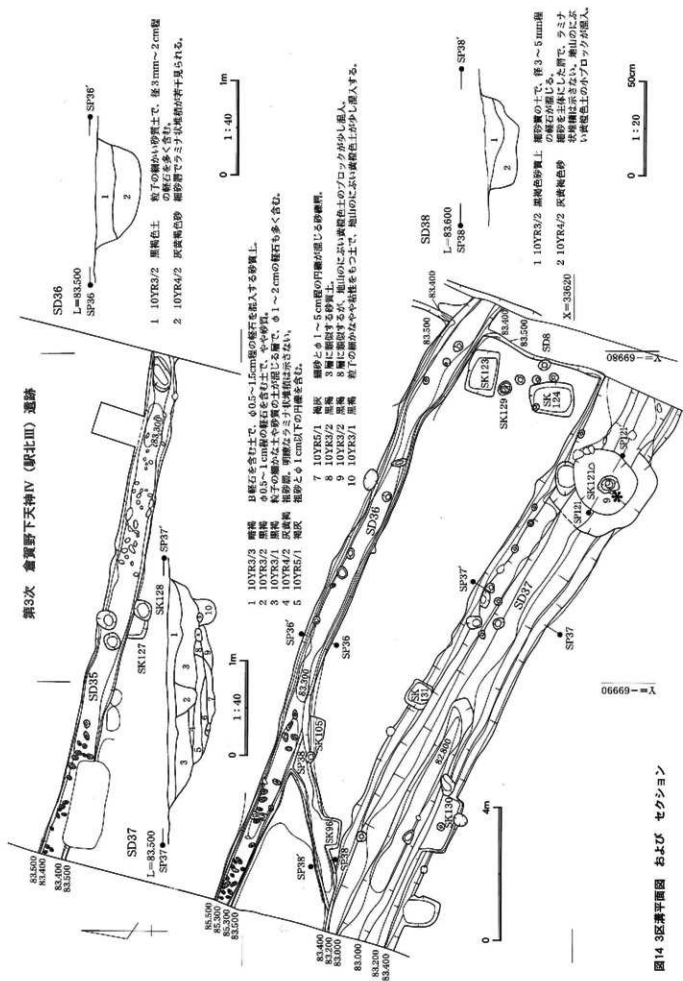


図14 3区横断面図 および セクション

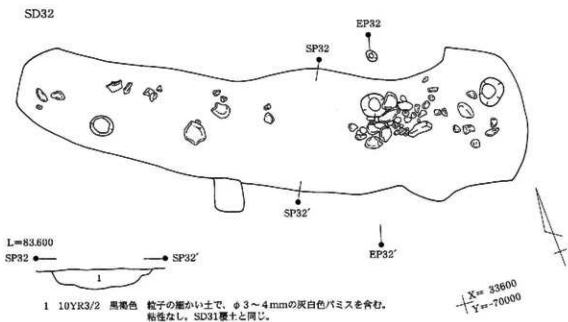
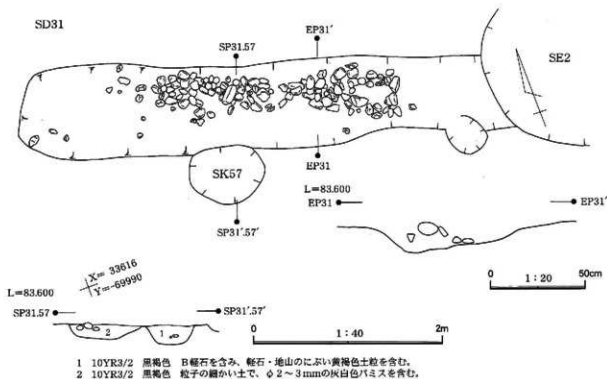
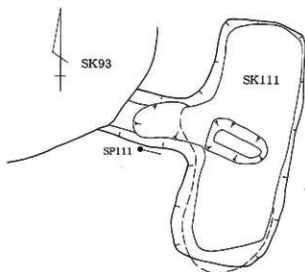


図15 SD31、SD32、SD8 平面図セクション

SK111



L=82500

SP111



- 1 10YR3/2 黒褐 地山のぶい黄褐色土粒を含む。
 2 10YR3/1 黒褐 1層と同様だが地山土粒の混入が少ないためか
 色調暗い。
 3 10YR3/1 黒褐 2層と同様だが、やや粘性をもつ。
 4 10YR4/2 灰黄褐 やや粘性をもつ土で、炭・骨が混じる。

X= 33630
 Y=-69985

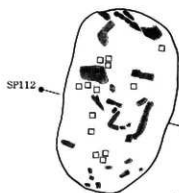
SP111'

SK112

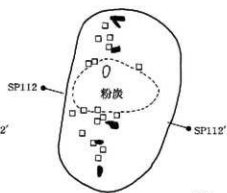
X= 33634
 Y=-69985

X= 33634
 Y=-69985

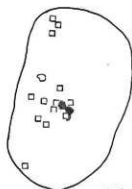
X= 33634
 Y=-69985



1面



2面



3面

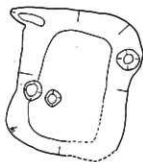
X= 33634
 Y=-69985

L=83500

SP112



- 1 炭を主体に黄土層じりの暗褐色砂質土が少し混じる。

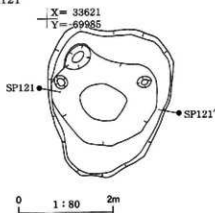


骨 炭

0 1 : 20 1m

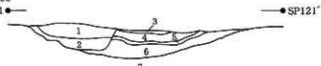
図16 SK111 SK112 平面図 および セクション

SK121



L=83.600

SP121



- | | | | |
|---|----------|----|---|
| 1 | 10YR3/1 | 黒褐 | B 軽石を多く含む土で、7 層の黒色土を小ブロックで埋入する。φ 1cm 以下の白色軽石を含む |
| 2 | 10YR3/2 | 黒褐 | 1 層より多く B 軽石を含み、5 層の淡黒色灰や 3 層の青灰色灰や 7 層の黒色土小ブロックを埋入 |
| 3 | 5B5/1 | 青灰 | B 軽石層の青灰 |
| 4 | | | B 軽石 |
| 5 | 2.5YR5/2 | 灰赤 | B 軽石層の淡紫色灰 |
| 6 | | | B 軽石 |
| 7 | N2/1 | 黒 | やや粘性土 |

SK122



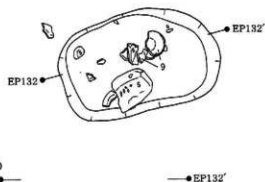
L=83.800

SP122

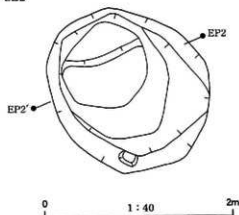
X = 33630
Y = -69978

L=83.800

EP132



SE2

X = 33616
Y = -69983

L=83.500

EP2

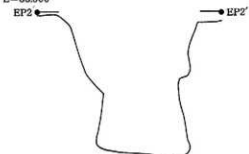
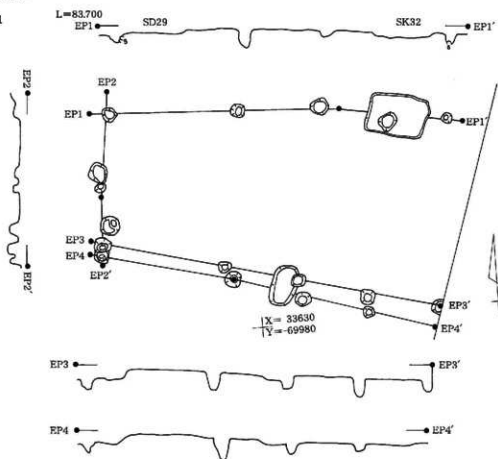


図17 3区土坑、井戸セクション、エレベーション

掘立柱建物跡

SB1



SB2

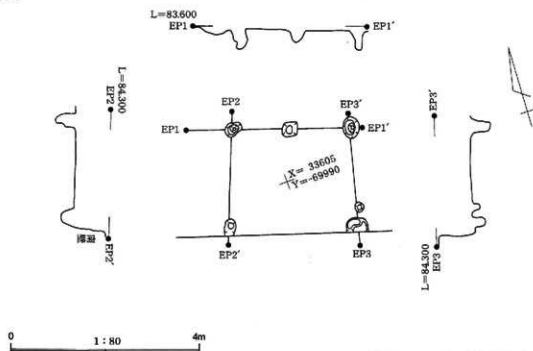
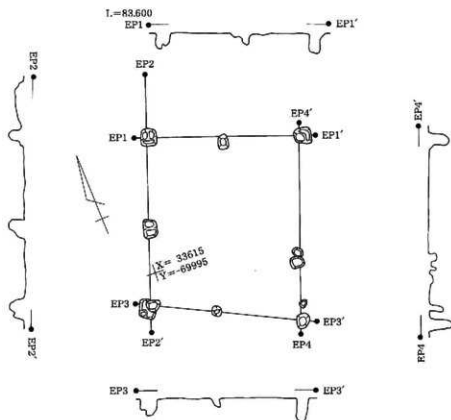


図18 SB1・SB2 平面図およびエレベーション

SB3



SB4

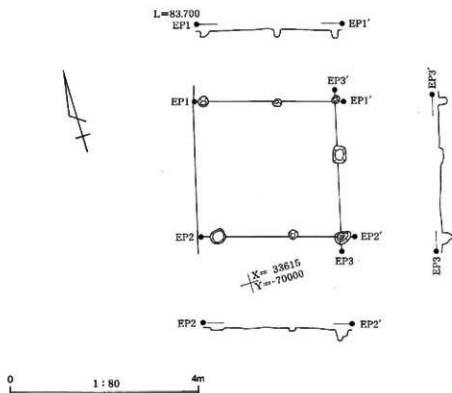
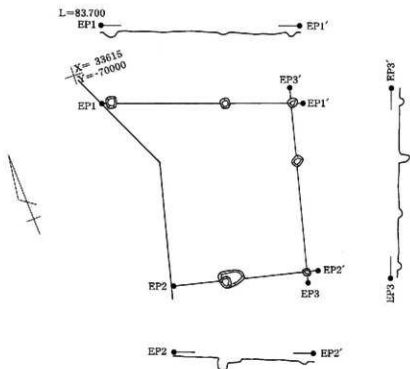


図19 SB3・SB4 平面図およびエレベーション

SB5



SB6

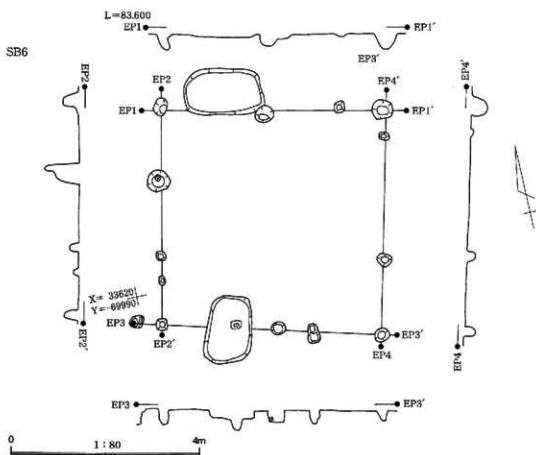


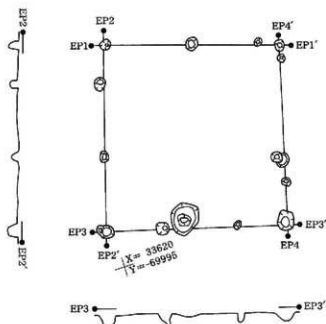
図20 SB5・SB6 平面図およびセクション

SB7

L=83.600

EP1

EP1'

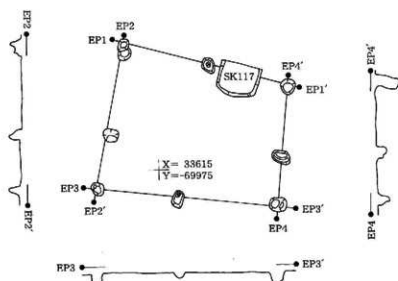


SB8

L=83.800

EP1

EP1'



0 1:80 4m

図21 SB7・SB8 平面図およびエレベーション

L=83.500

SP39

SP39'

- 1 10YR3/3 暗褐
B軽石を含む土で、 $\phi 5\text{mm}$ 以下の
白色軽石も多く混じる。
円礫が多数混じる。 SP39
- 2 10YR3/2 黒褐
やや砂質の土で、地山のにぶ
い黄褐色土の小ブロック
が混じる。
- 3 10YR4/1 褐灰
2層同様やや砂質の土で、
地山のにぶい黄褐色土が混
じる。
- 4 10YR6/3 にぶい黄橙
地山の土がブロック状に
崩落した土。

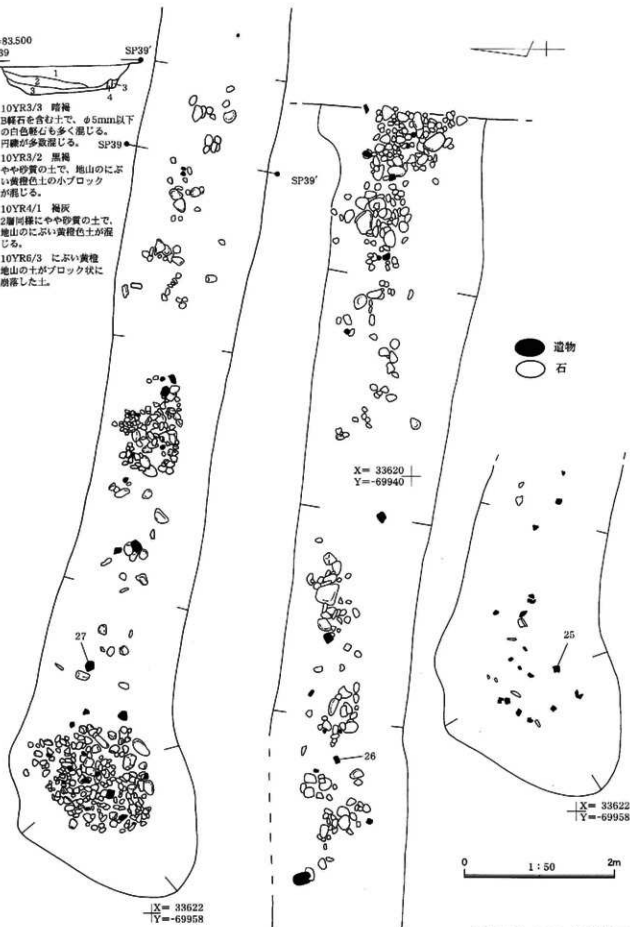


図22 4区 SD39 出土状況図

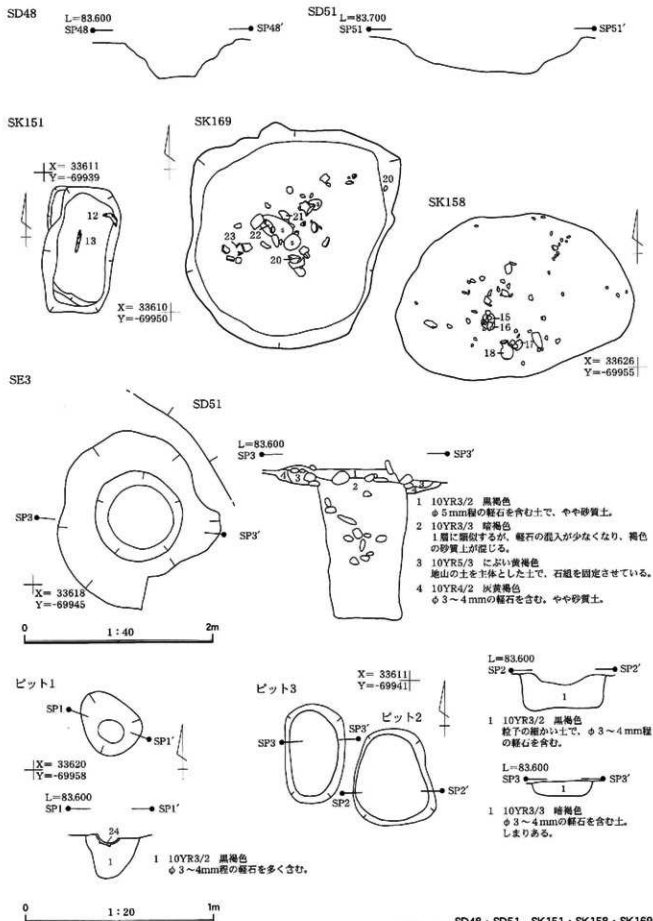
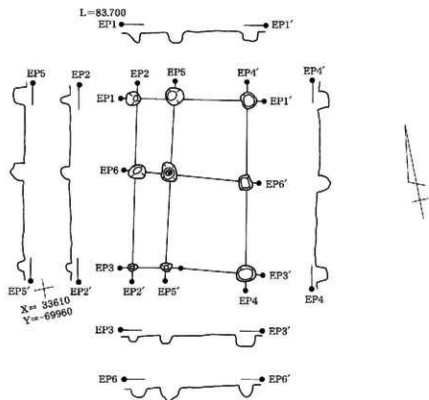


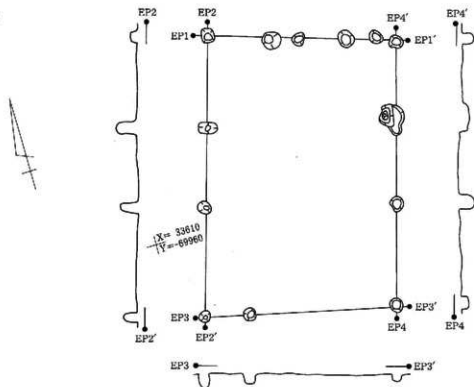
図23 4区 SD48・SD51 SK151・SK158・SK169
SE3・Pit1・Pit2・Pit3 実測図

掘立柱建物跡

SB9



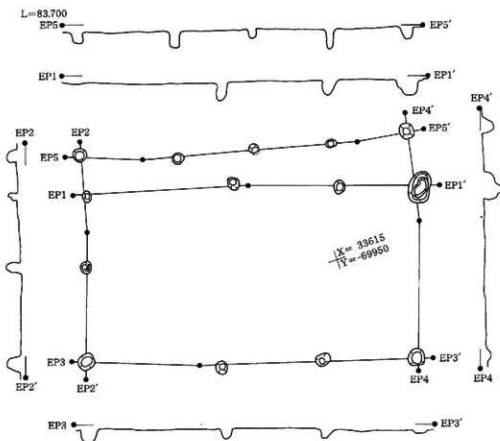
SB10



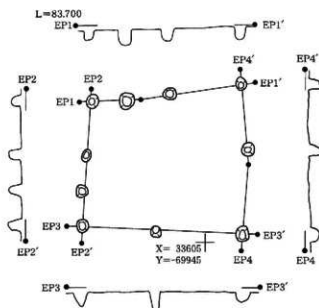
0 1:80 4m

図24 SB9・SB10 平面図およびエレベーション

SB11

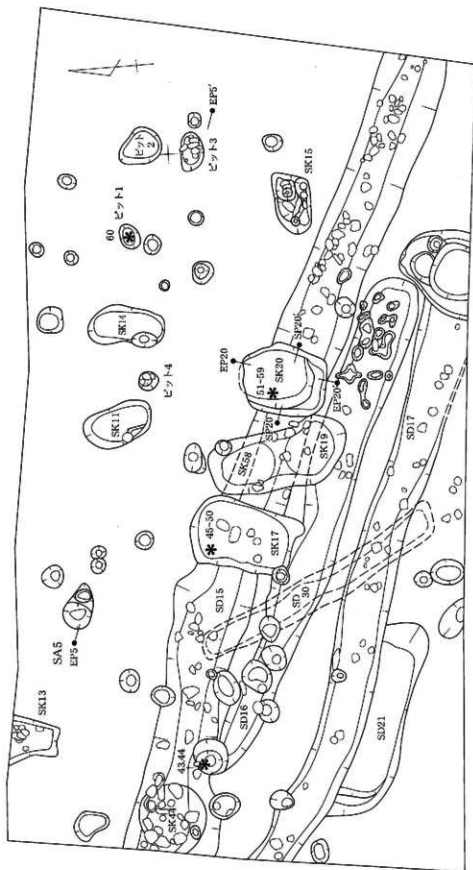


SB12



0 1 : 80 4m

図25 SB11・SB12 平面図およびエレベーション

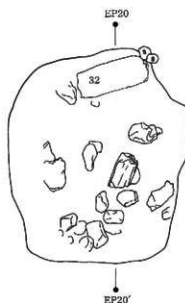


0 1:50 2m

図26 9トレンチ平面図および構造エレベーション

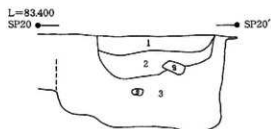
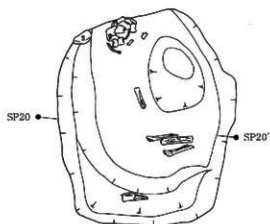
SK20

1面



2面

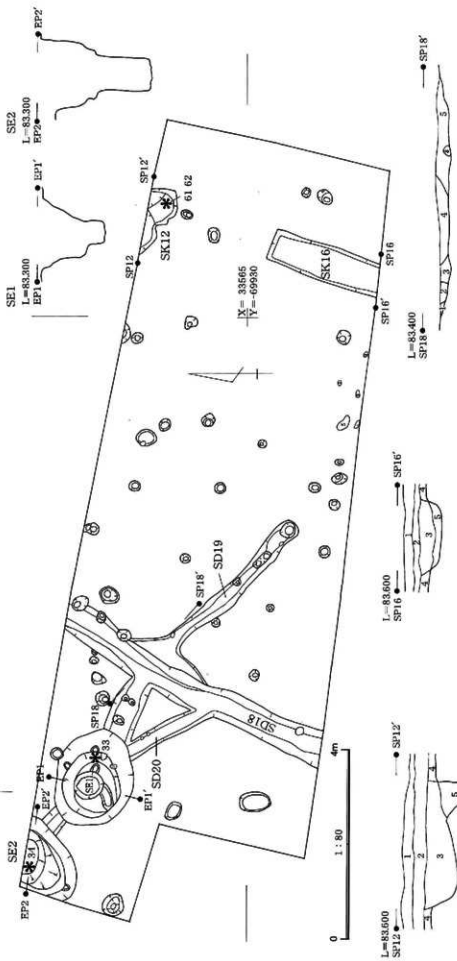
X=33562
Y=69963



- 1 10YR3/2 黒褐色 地山のぶい黄褐色土粒を混入する土で、若干B軽石が混入する。
- 2 10YR3/1 黒褐色 B軽石の混入多くなる。地山のぶい黄褐色土も混入する。
- 3 10YR3/1 黒褐色 黒色化したB軽石が主体となり、わずかに地山のぶい黄褐色土粒が混じる。

0 1 : 20 1m

図27 SK20 セクションエレベーション



- 1 耕作土
2 10YR3/4 暗褐色 灰分は濃縮。
3 10YR3/2 黒褐色 粒子の細かい砂質の土で、ザラザラ。
4 10YR3/3 暗褐色 SK16の4層と同じ。
5 10YR3/2 黒褐色 3層に似るが、砂質が硬り、粘性がある。しりしない。

- 1 現耕作土
2 10YR3/4 暗褐色 灰分は濃縮。
3 10YR2/2 黒褐色 粒子の細かい砂質の土で、ザラザラ。
4 10YR3/3 暗褐色 粒子の細かい土で、やや粘性がある。
5 10YR2/2 黒褐色 3層に似るが、粘性がある。ややしり。

- 1 10YR4/4 褐色
2 10YR4/3 暗褐色 1層に集つばい土が若干混入。
3 10YR3/2 黒褐色 粒子の細かい砂質土で、粘性がある。
4 10YR3/2 暗褐色 粒子の細かい砂質土で、ザラザラ。
5 10YR3/2 黒褐色 3層に似るが、やや砂質が硬り、粘性がある。
6 10YR3/2 黒褐色 灰土の混入がわかる。



図28 10トレンチ平面図およびセクション・エレベーション

図29 11トレンチ平面図およびセクション

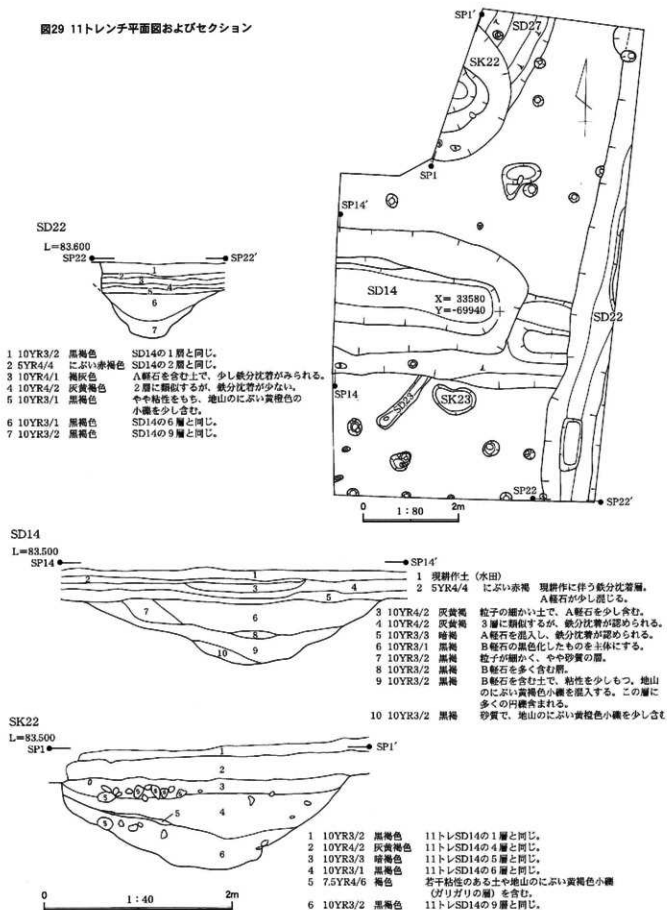


図30
12トレンチ平面図および
溝、土坑セクション

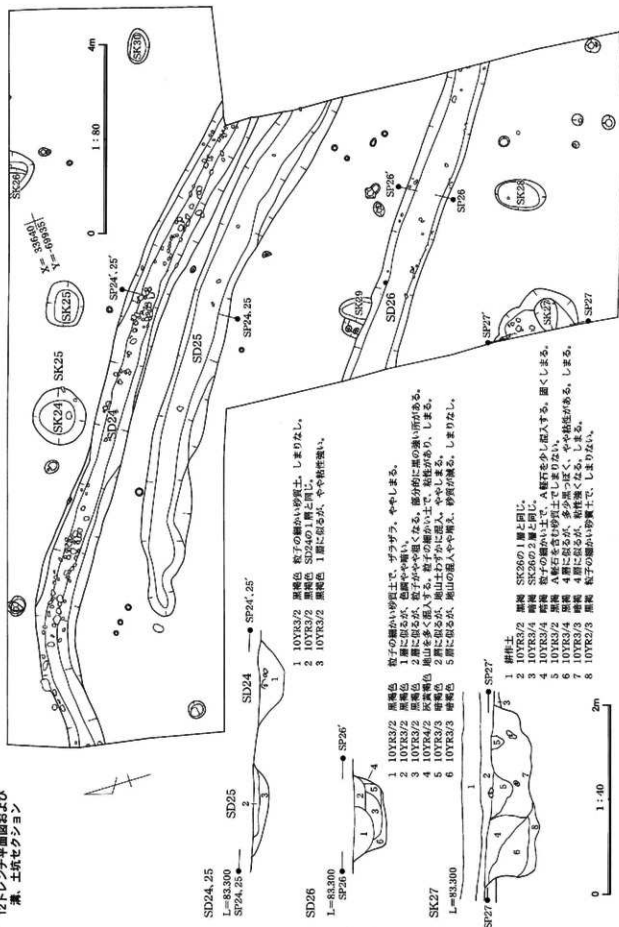
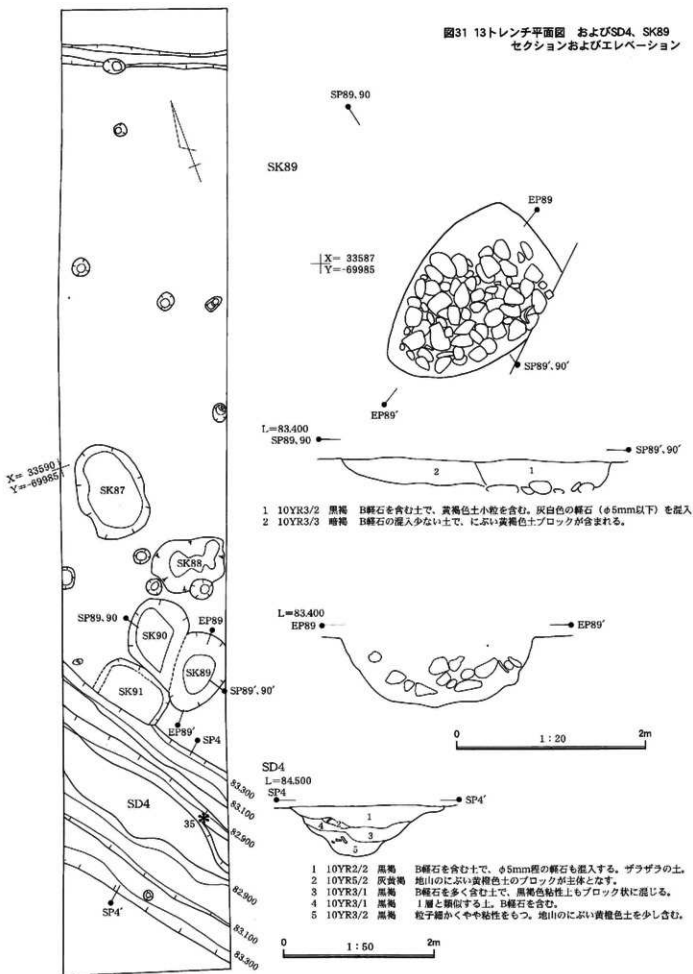
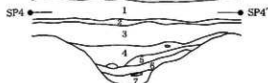


図31 13トレンチ平面図 およびSD4, SK89
セクションおよびエレベーション



SD4

L=83.600



- 1 混雑作土。△軽石を混入する。
 2 5YR4/6 赤褐 鉄分沈着層。△軽石を含む。
 3 10YR2/2 黒褐 B軽石を多く含む土で、φ5mm程度の軽石も混入する。
 4 10YR3/2 黒褐 3層に類似するが、地山のにぶい黄褐色土粒が混入する。
 5 10YR3/3 暗褐 粒子が細かく、やや粘性をもつ。
 6 10YR3/2 黒褐 4層と同様。
 7 10YR3/2 黒褐 粒子細かく、やや粘性をもつ。地山のにぶい黄褐色土を含む。

SK109

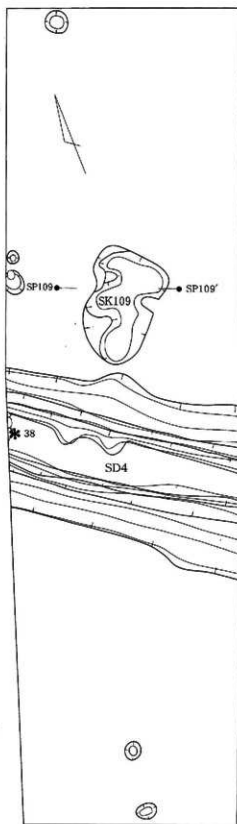
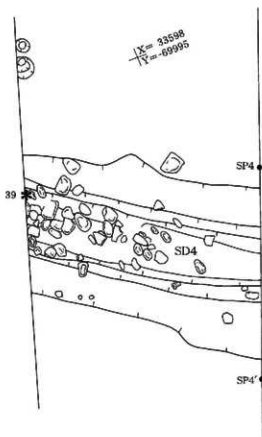
L=83.400



- 1 10YR3/2 黒褐色 粒子の細かい土で、地山のにぶい黄褐色土粒を含む。
 2 10YR3/2 黒褐色 1層と同様だが、地山土の混入が多く、ブロックもやや大きい。
 3 10YR3/1 黒褐色 1層に類似。地山土の混入も少なくなる。
 4 10YR2/1 黒色 粒子の細かい土で、やや粘性をもつ。

図32 SD4, SK109セクション

0 1:40 1m



0 1:40 2m

図33 14トレンチ平面図および遺物出土状況

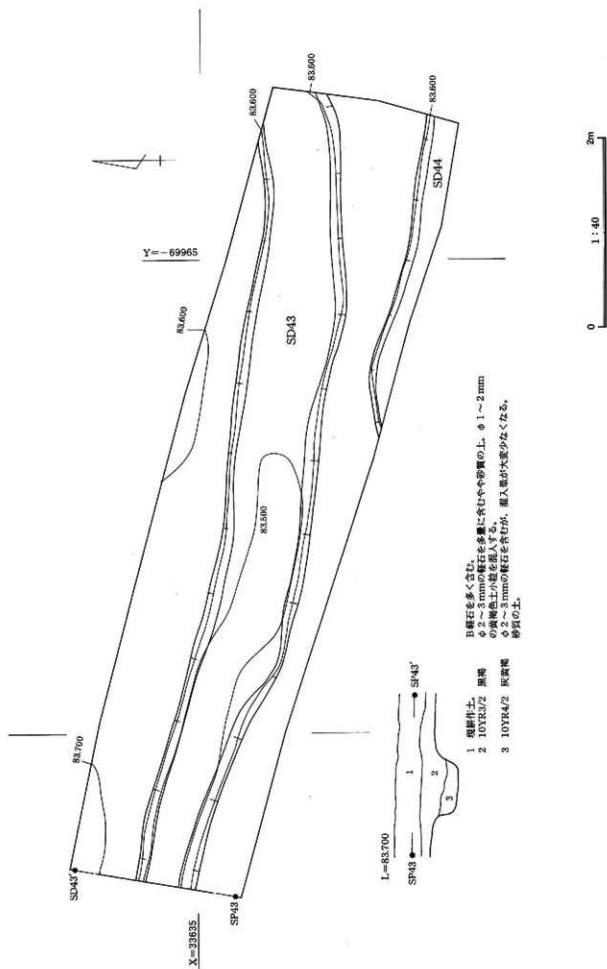
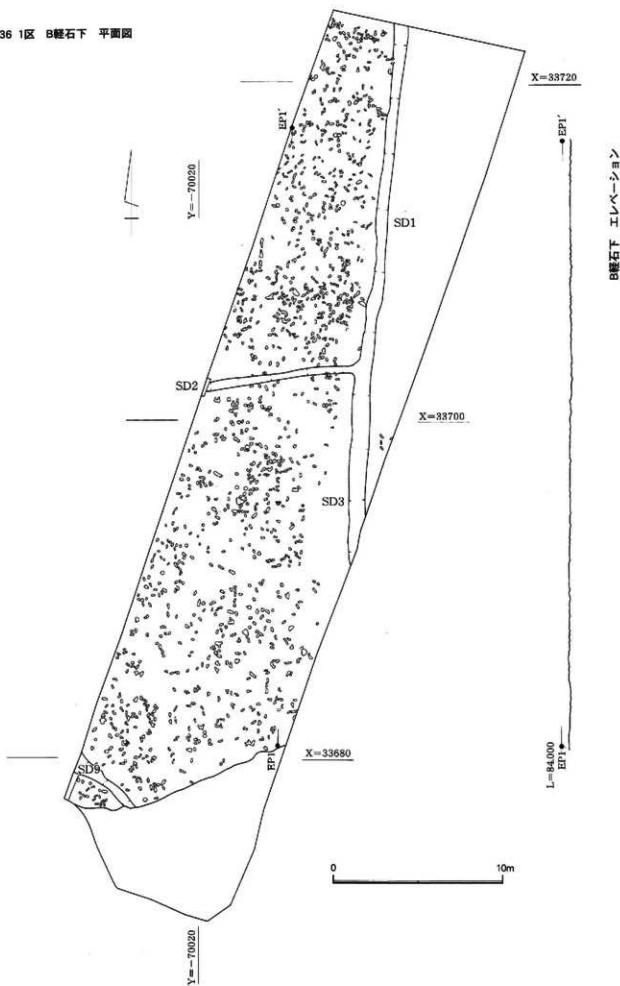


図36 1区 B經石下 平面図



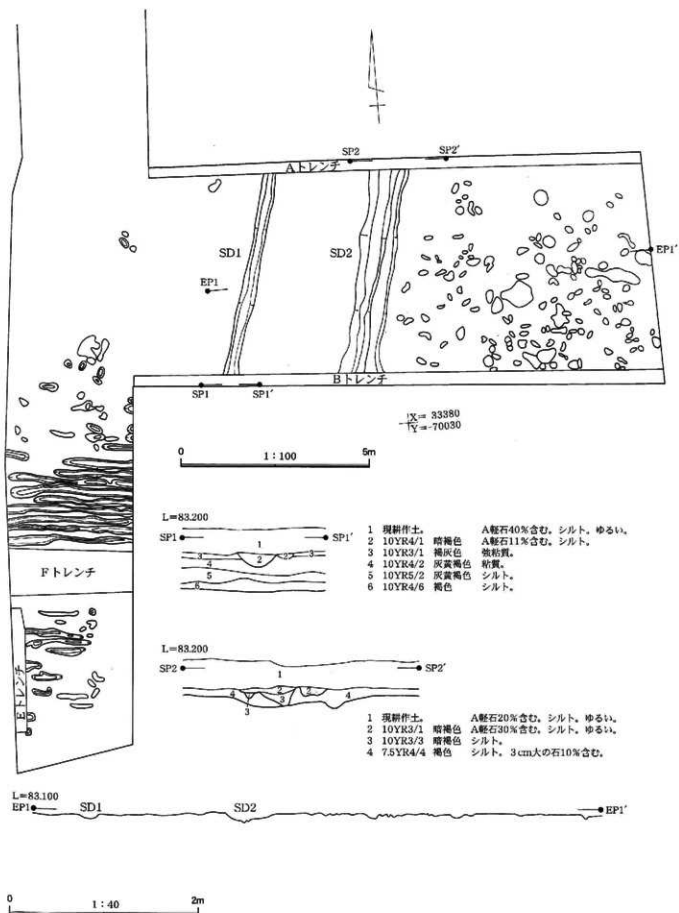


図37 5区1面 平面図およびセクション・エレベーション

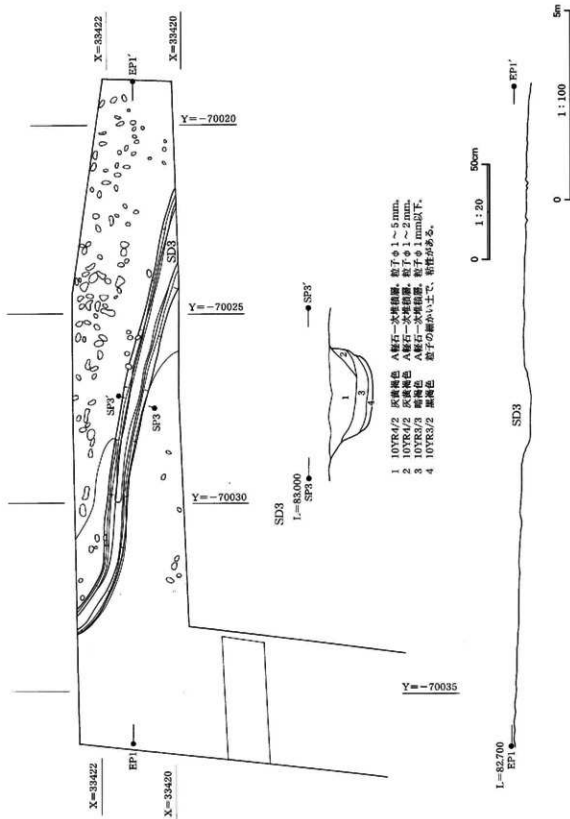
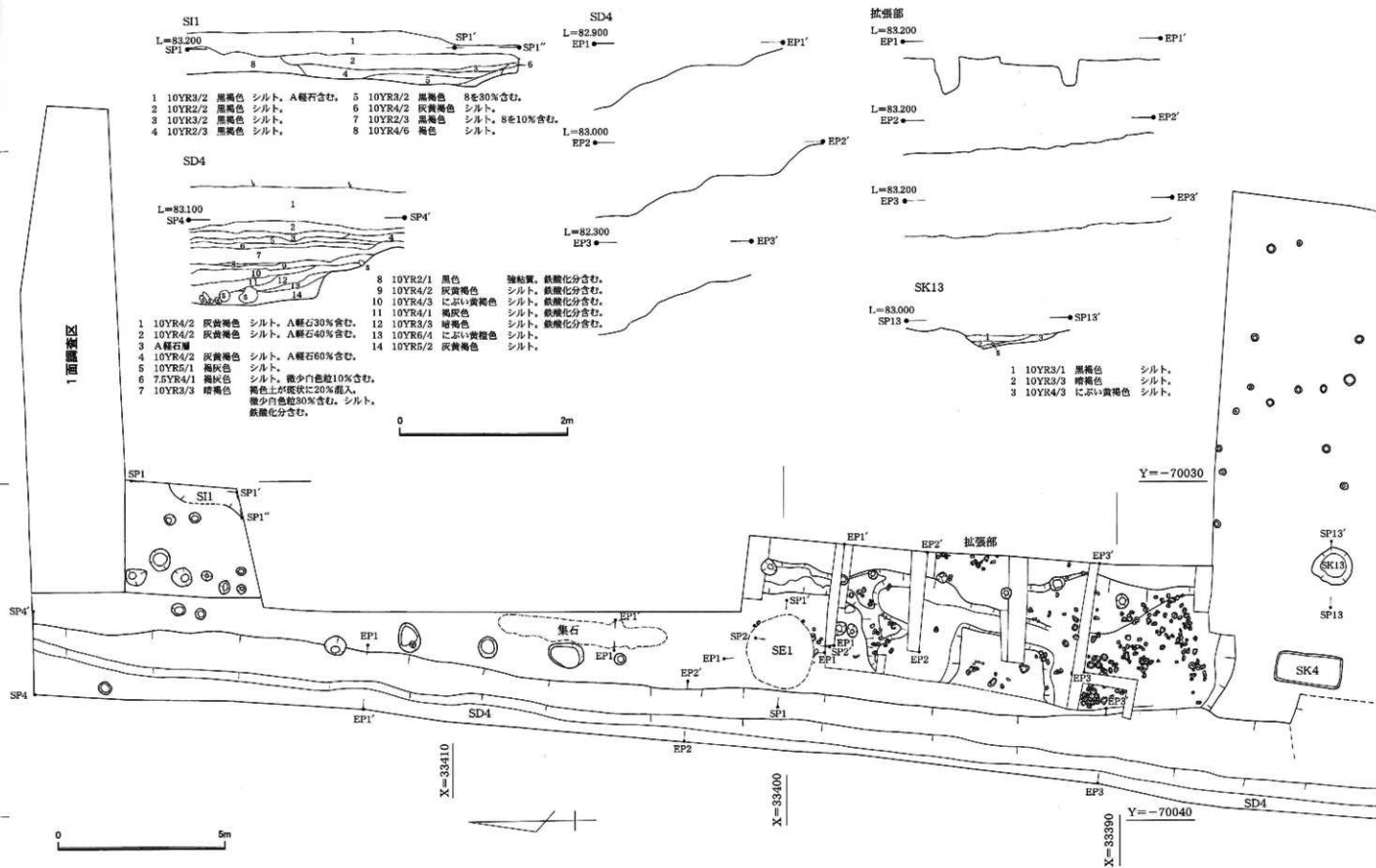


図38 5区1面 平面図およびセクション・エレベーション



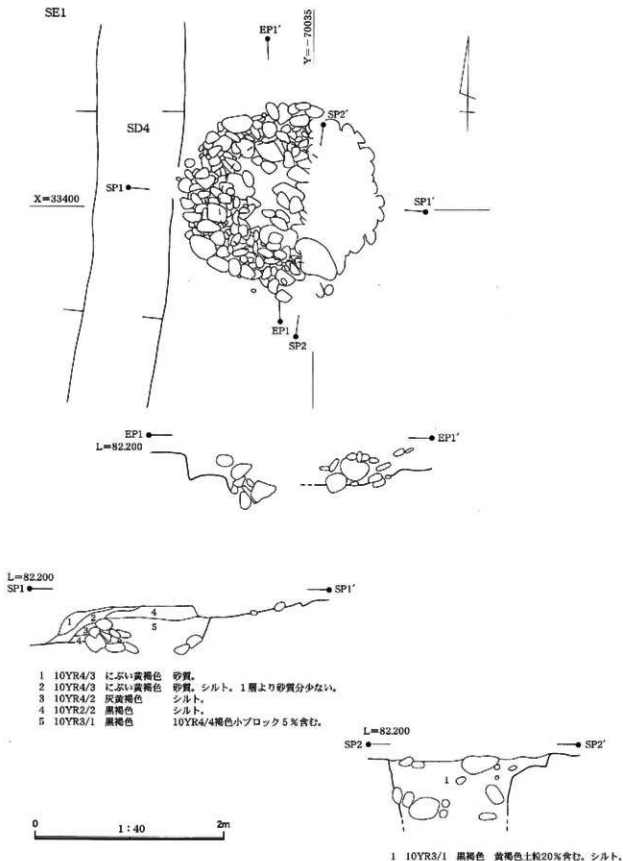
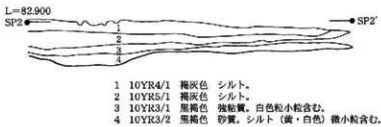
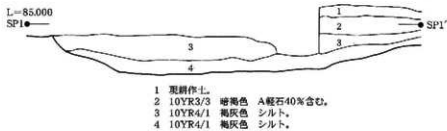
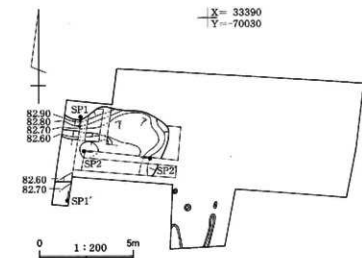


図39 5区2面 SE1平面図およびセクション・エレベーション

2面 集石平面図

3面 平面图



集石エレベーション

図40 5区2面3面平面図およびセクション・エレベーション

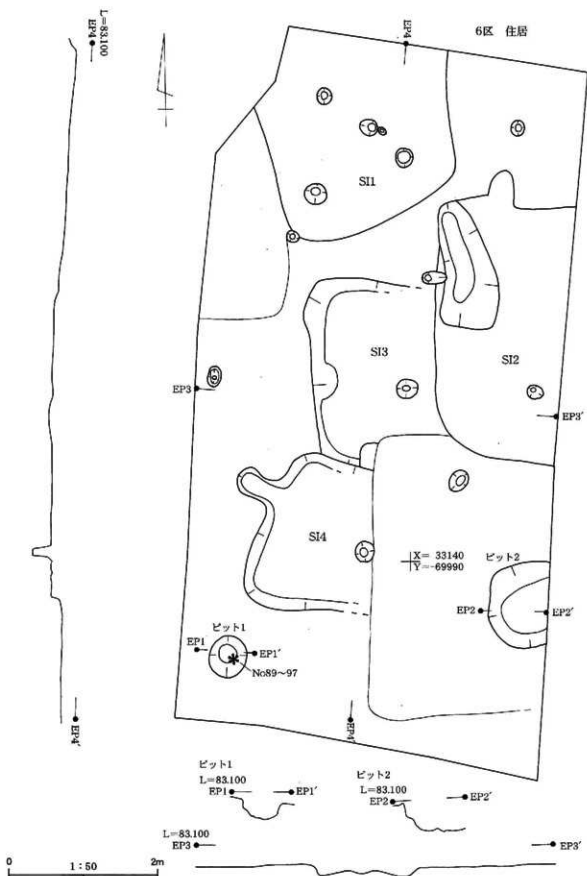
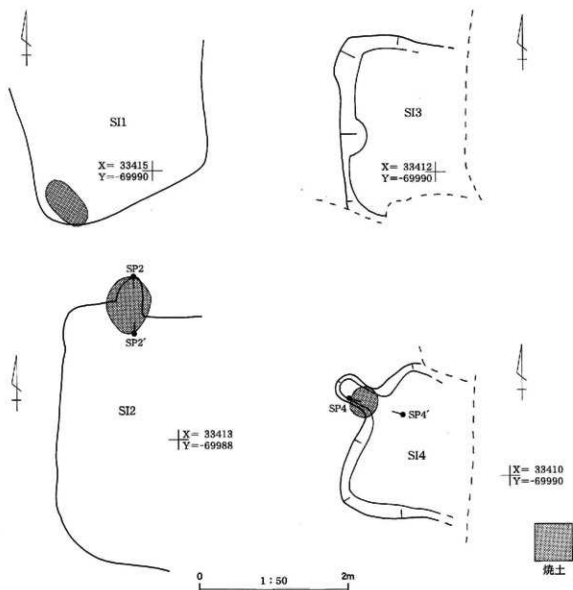


図41 6区住居平面図およびエレベーション



SI2かまど

L=83.100

SP2 ●

● SP2'



1 10YR3/2 黒褐色 シルト。

SI4かまど

L=83.100

SP4 ●

● SP4'



- 1 10YR4/8 赤色。
- 2 10YR3/3 暗褐色。
- 3 10YR4/2 灰黄褐色。
- 4 10YR4/4 褐色。

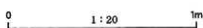


図42 6区 SI 1、2、3、4 平面図およびかまどセクション

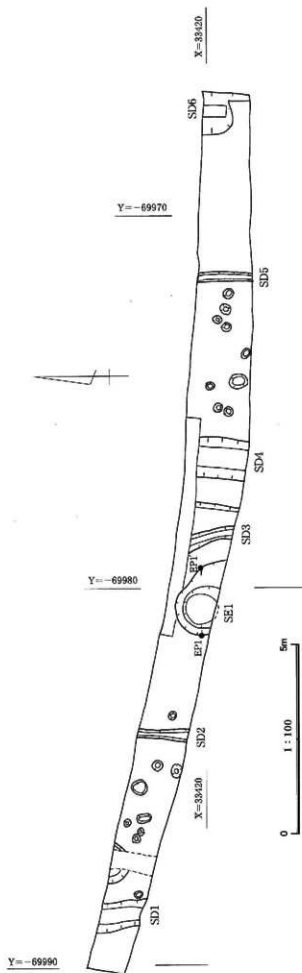


図44 10区 全体図

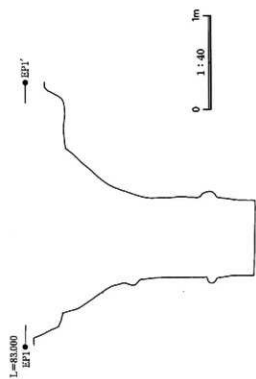


図45 10区 SE1 エレベーション図

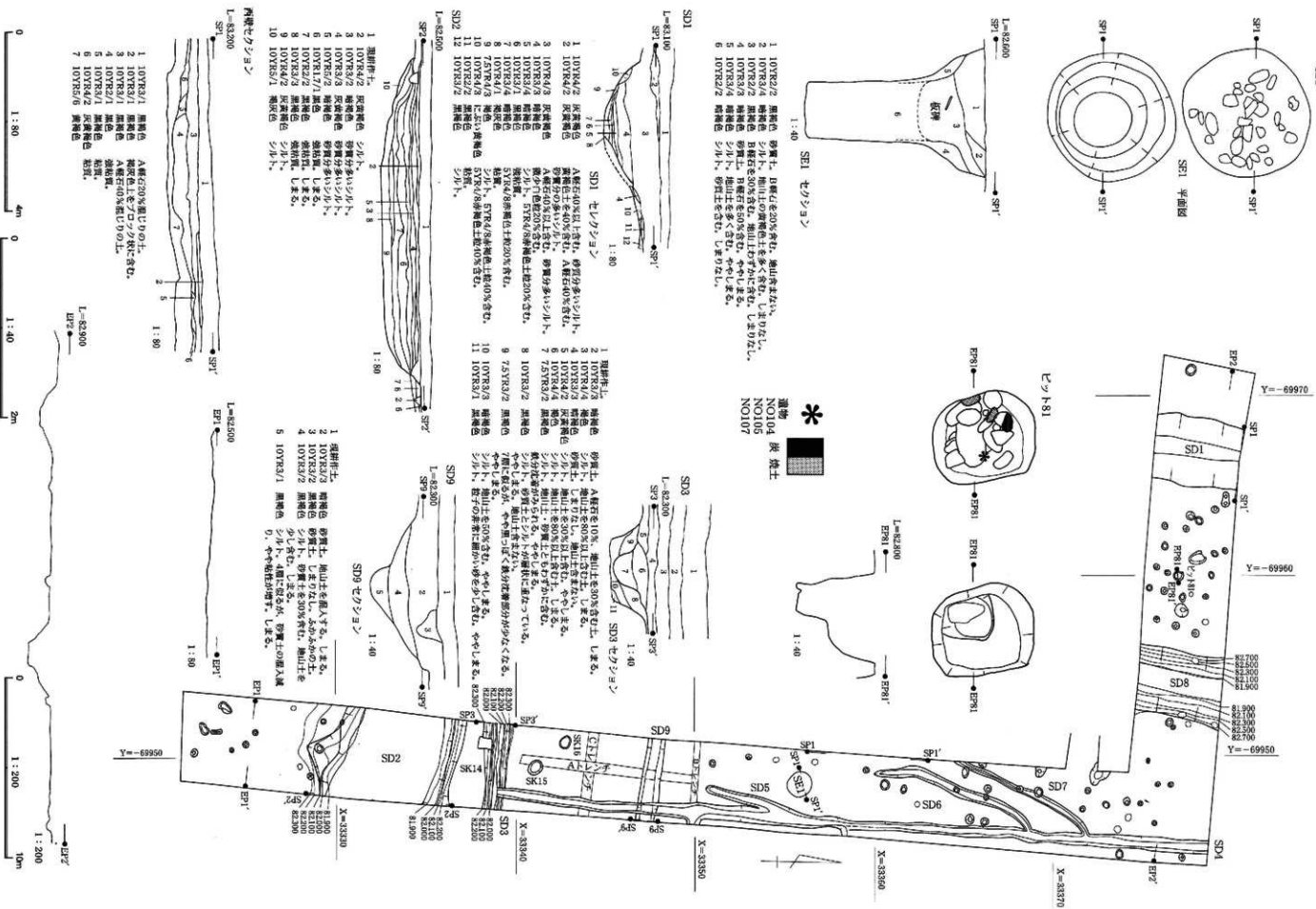


図46 第4次倉賀野下天神V・下福越I（駅北IV）遺跡 8区1面 全体図

362



図50 1区2面平面図およびセクション図

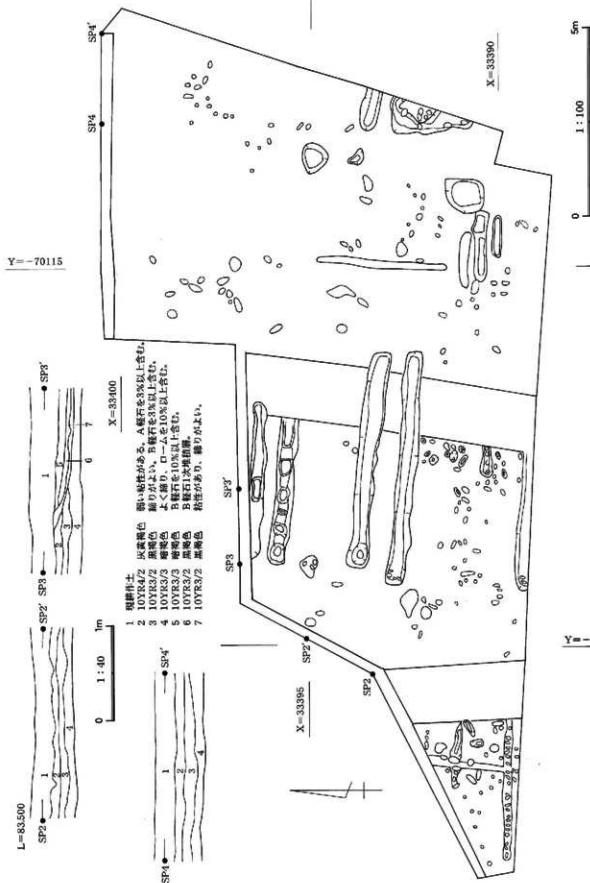
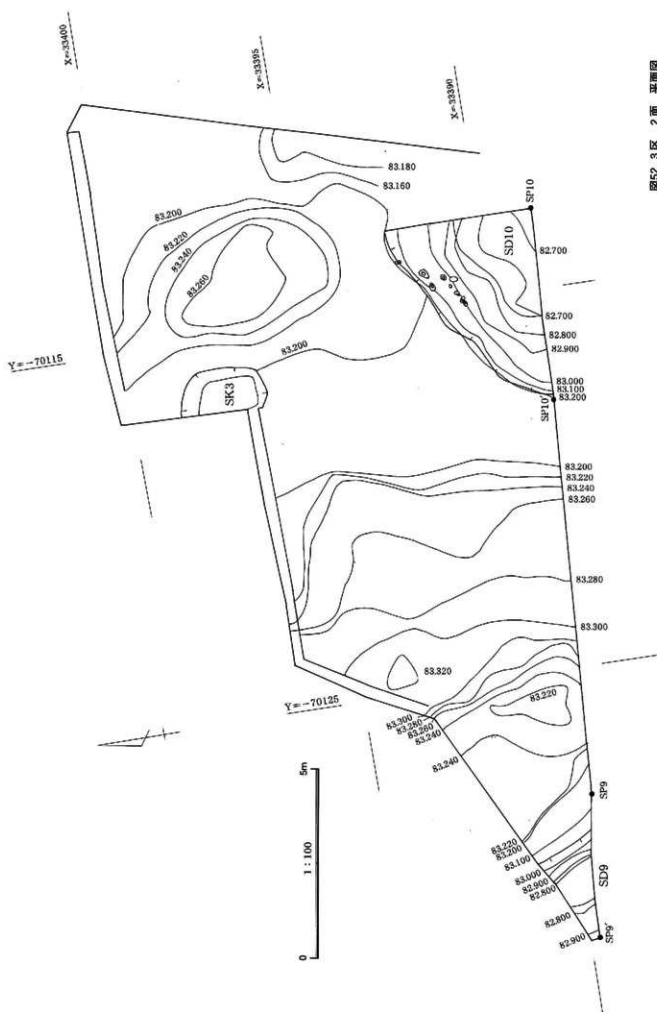
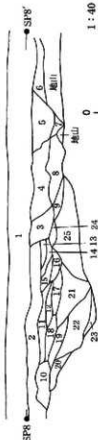


図51 3区1箇平面図およびセクション図

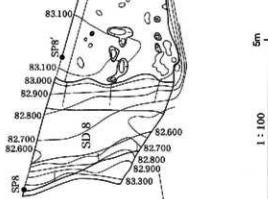
图52 3区 2面 平面图





東側作土

- 1 東側作土
- 2 10YR3/3 暗褐色 粘性強い、しまりやや強い、A層石を少し含む、灰をわずかに含む。
- 3 10YR3/2 黒褐色 粘性強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む。
- 4 10YR3/2 暗褐色 粘性やや強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む。
- 5 7.5YR3/2 暗褐色 粘性やや強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む。
- 6 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む。
- 7 10YR3/3 暗褐色 粘性やや強い、しまり強い、A層石をわずかに含む。
- 8 10YR3/3 暗褐色 粘性やや強い、しまり強い、A層石をわずかに含む。
- 9 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまり強い、灰をわずかに含む。
- 10 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまり強い、灰をわずかに含む。
- 11 10YR3/2 暗褐色 粘性やや強い、しまり強い、灰をわずかに含む。
- 12 10YR3/2 暗褐色 粘性やや強い、しまりやや強い、灰をわずかに含む。
- 13 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む、灰をわずかに含む。
- 14 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む、灰をわずかに含む。



Y=-70085

2m

1:40

- 15 10YR3/3 暗褐色 粘性強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む。
- 16 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまりやや強い、A層石をわずかに含む。
- 17 10YR4/2 灰褐色 粘性やや強い、しまり強い、地山土を多く含む。
- 18 10YR4/2 にぶい灰褐色 粘性やや強い、しまり強い、地山土を多く含む。
- 19 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまり強い、地山土を少し含む。
- 20 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまりやや強い、地山土を非常に多く含む。
- 21 10YR3/1 黒褐色 粘性強い、しまり強い、地山土をわずかに含む。
- 22 10YR3/2 黒褐色 粘性強い、しまりやや強い、地山土をわずかに含む。
- 23 10YR3/1 黒褐色 粘性強い、しまりやや強い、地山土を少し含む。
- 24 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまり強い、地山土を少し含む。
- 25 10YR3/2 暗褐色 粘性強い、しまり強い、地山土を多く含む。

SD12

X=33375

X=33370

図54 5区 1面全体図および SDセクション図

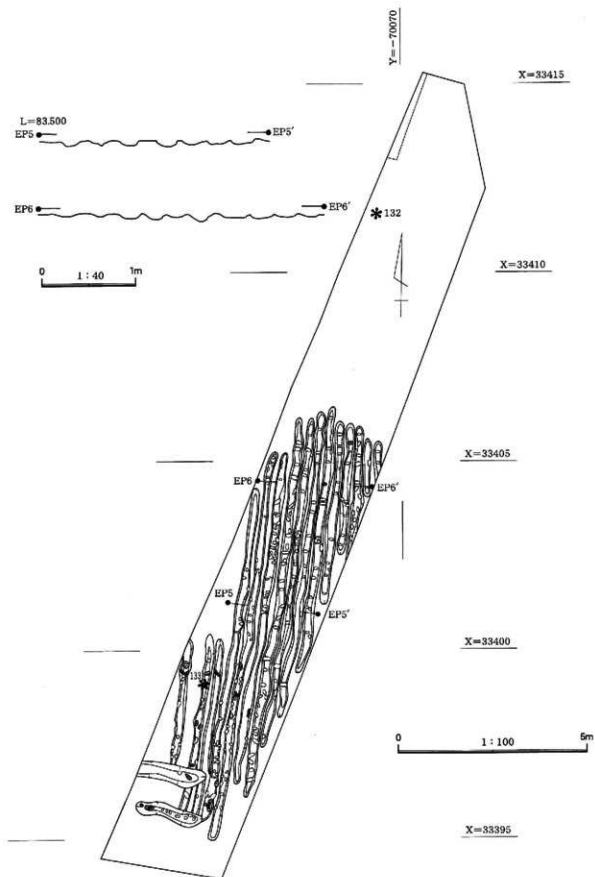
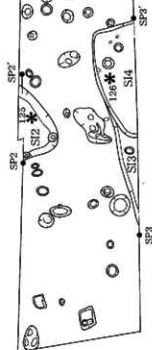


図55 6区1面 全体図

X=33395

X=33405

X=33415

L=83300
SP2L=83300
SP2' SP3

SI2

SI3

SI4

—●SP3'



1 現耕作土

- 2 10YR3/3 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、A層石を3%以上含む。
- 3 10YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、B層石を3%以上含む。
- 4 10YR3/1 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、C層石を3%以上含む。
- 5 10YR3/1 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、D層石を3%以上含む。
- 6 2.5YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、E層石を3%以上含む。
- 7 10YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、F層石を3%以上含む。
- 8 10YR3/3 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、G層石を3%以上含む。
- 9 7.5YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、H層石を3%以上含む。
- 10 10YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、I層石を3%以上含む。
- 11 7.5YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、J層石を3%以上含む。

1 現耕作土

- 2 10YR3/3 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、A層石を3%以上含む。
- 3 10YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、B層石を3%以上含む。
- 4 10YR3/1 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、C層石を3%以上含む。
- 5 10YR3/1 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、D層石を3%以上含む。
- 6 2.5YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、E層石を3%以上含む。
- 7 10YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、F層石を3%以上含む。
- 8 10YR3/3 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、G層石を3%以上含む。
- 9 7.5YR3/2 暗褐色 粘土質、しまりやや強い、H層石を3%以上含む。

0 1:40 2m

図56 6区 3面 全体図 および SI2 SI3 SI4 セクション図

第6次 倉賀野下天神Ⅶ（駅北Ⅵ）遺跡

Y=-70125

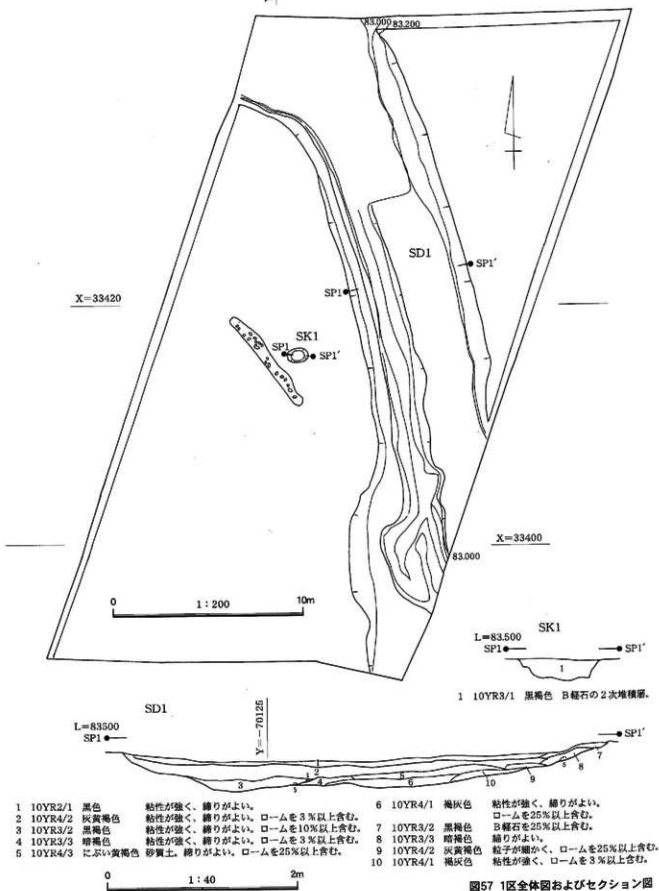


図57 1区全体図およびセクション図

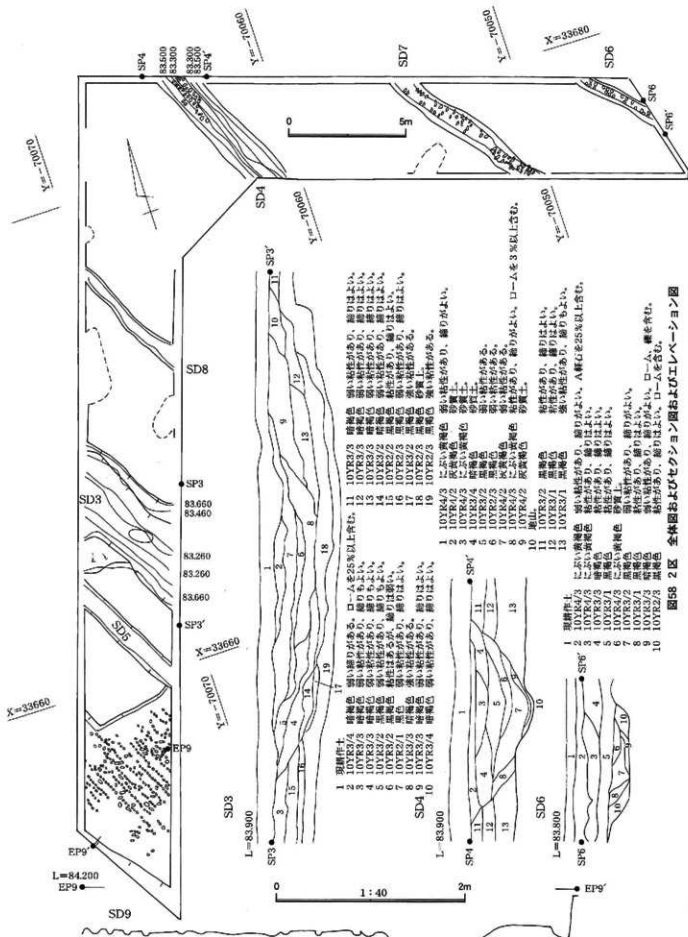


図58 2区 全体図およびセクション図およびエレベーション図

出土遺物実測図

倉賀野下天神Ⅲ（駅北Ⅱ）遺跡 2区

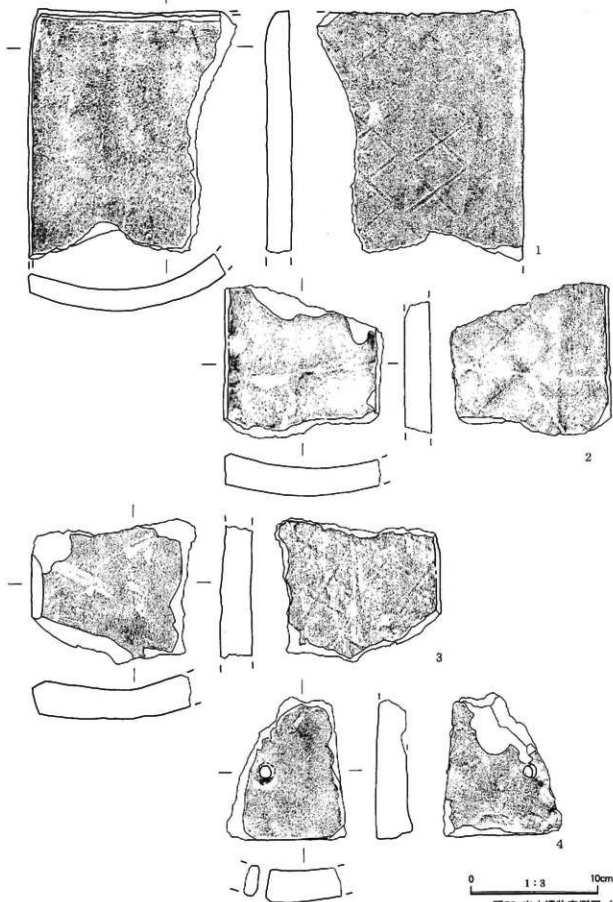
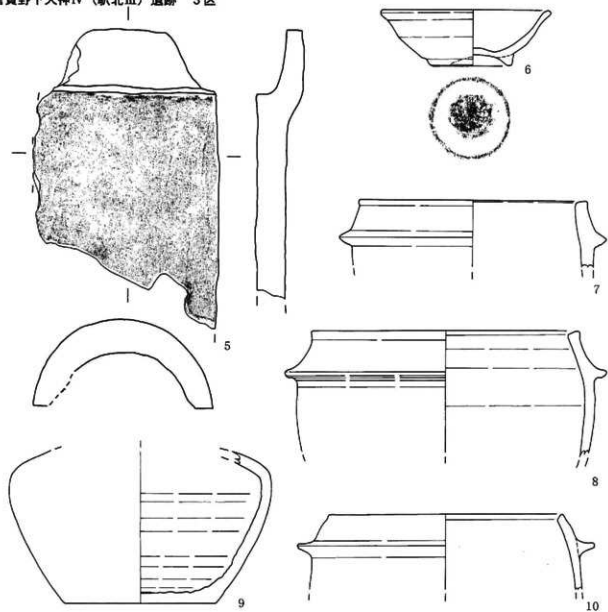


図59 出土遺物実測図 (1)

倉賀野下天神IV（駅北Ⅲ）遺跡 3区



倉賀野下天神IV（駅北Ⅲ）遺跡 4区

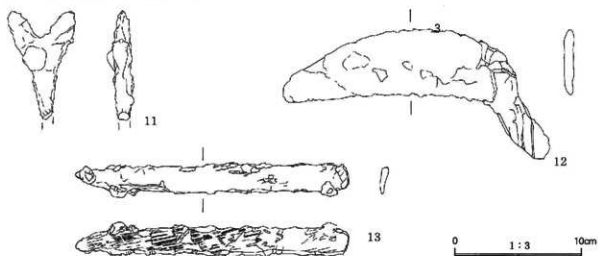


図60 出土遺物実測図 (2)

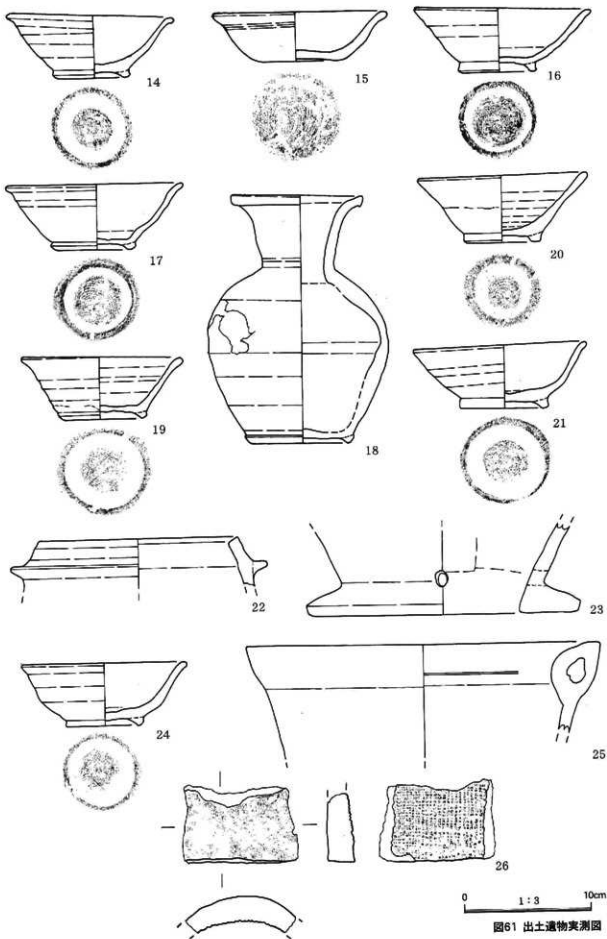
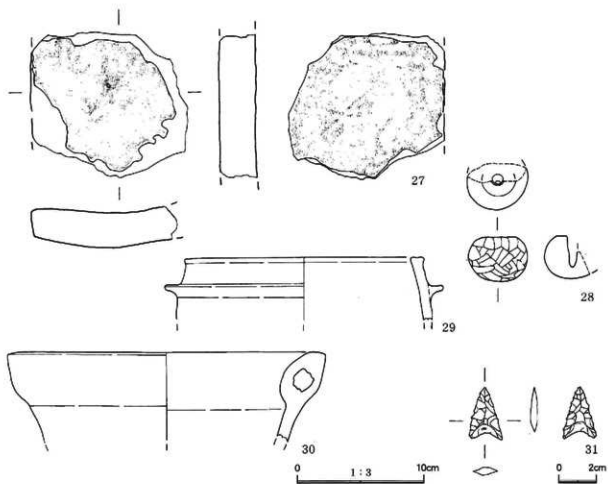


圖61 出土遺物実測圖 (3)



倉賀野下天神IV（駅北Ⅲ）遺跡 9トレンチ

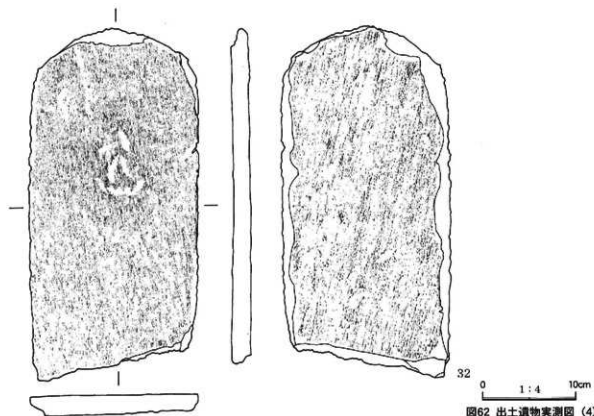
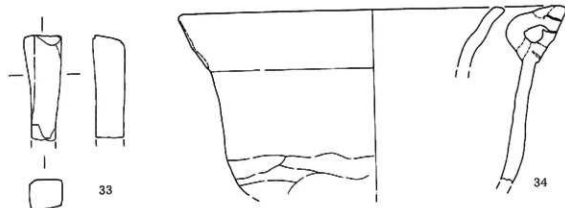


図62 出土遺物実測図 (4)

倉賀野下天神Ⅳ（駅北Ⅲ）遺跡

10トレンチ



倉賀野下天神Ⅳ（駅北Ⅲ）遺跡

13トレンチ

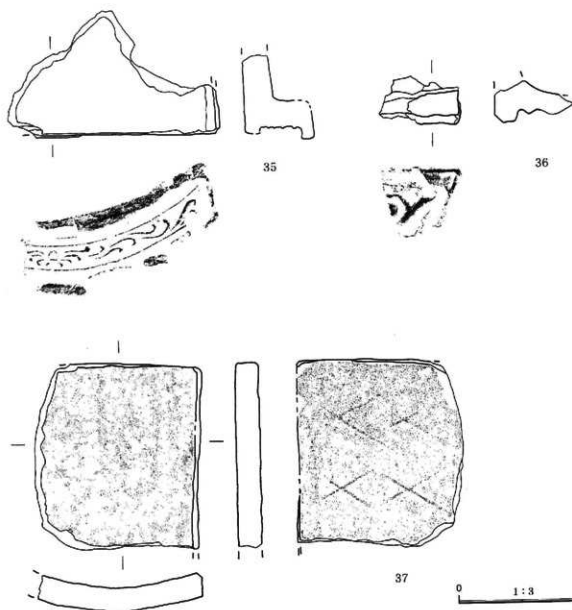
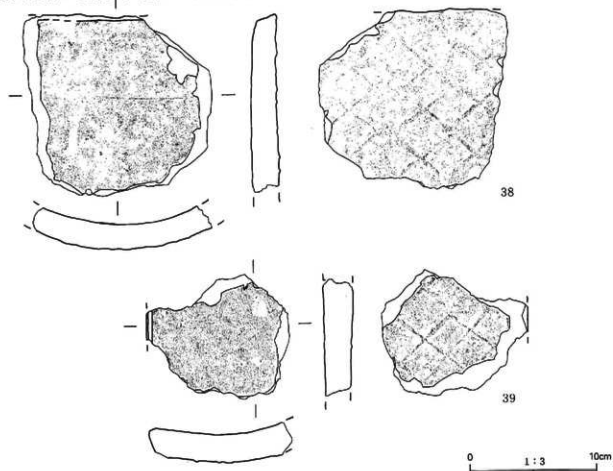


図63 出土遺物実測図 (5)

倉賀野下天神IV（駅北Ⅲ）遺跡 14トレンチ



倉賀野下天神IV（駅北Ⅲ）遺跡 古銭

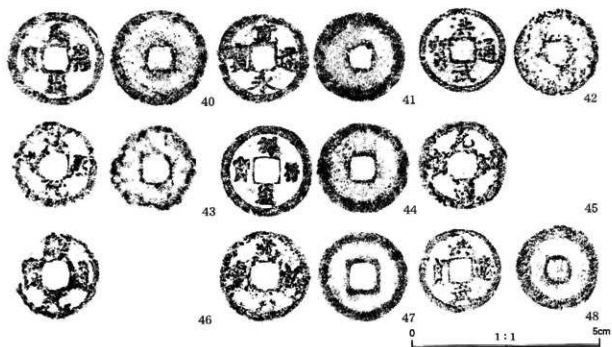
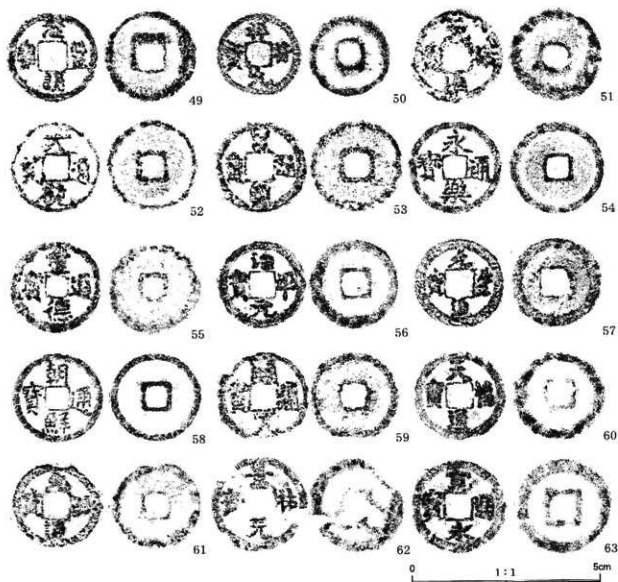


図64 出土遺物実測図 (6)



倉賀野下天神V・下樋越I（駅北IV）遺跡 5区

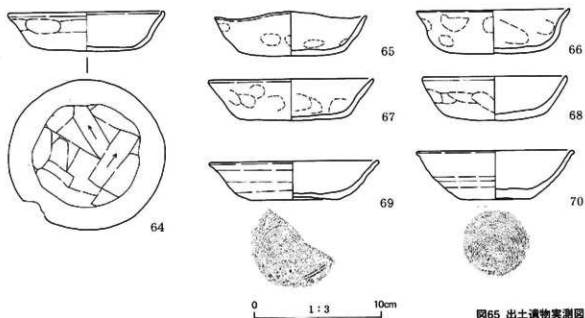
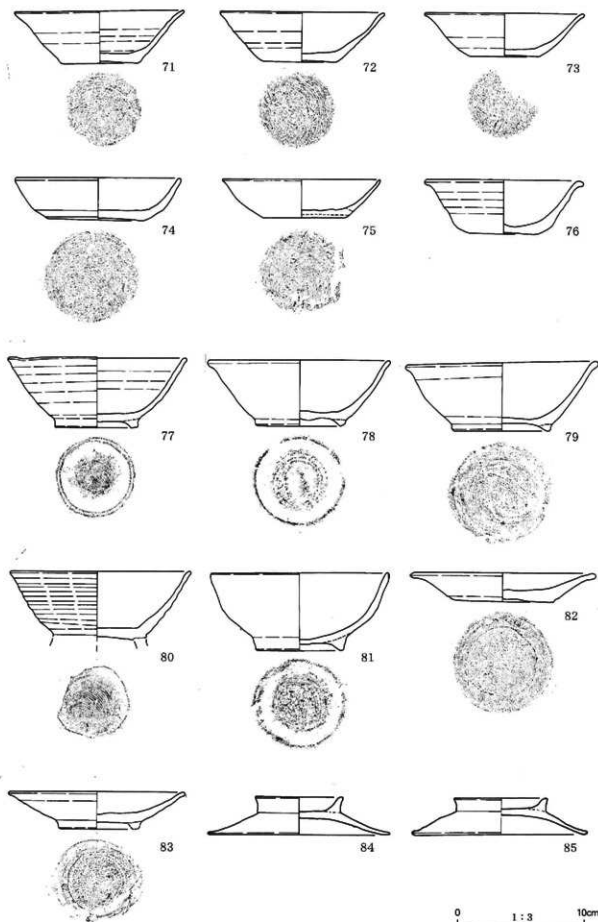
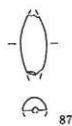


図65 出土遺物実測図 (7)

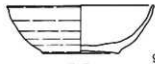
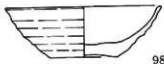
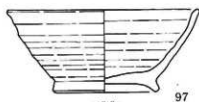
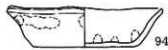
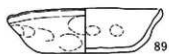


0 1:3 10cm

图66 出土文物实测图 (8)



倉賀野下天神Ⅴ・下樋越Ⅰ（駅北Ⅳ）遺跡 5区

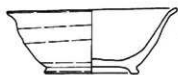


0 1:3 10cm

図67 出土遺物実測図 (9)



101



102

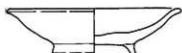


103

倉賀野下天神V・下樋越I (駅北IV) 遺跡 8区



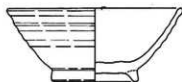
104



105



106



107



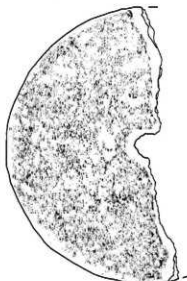
0 1:3 10cm

倉賀野下天神V・下樋越I (駅北IV) 遺跡 10区・11区



108

0 1:3 5cm



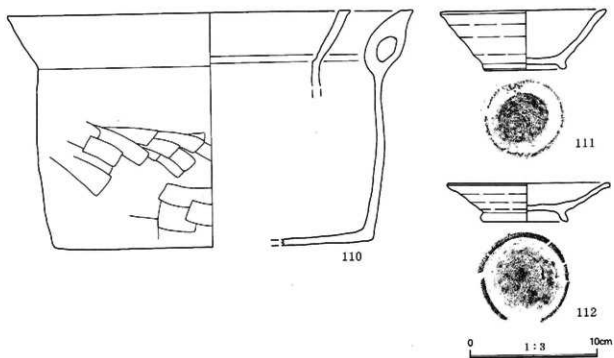
109



0 1:4 10cm

図68 出土遺物実測図 (10)

倉賀野下天神V・下樋越I（駅北IV）遺跡 13区



倉賀野下天神VI・下樋越II（駅北V）遺跡 4区

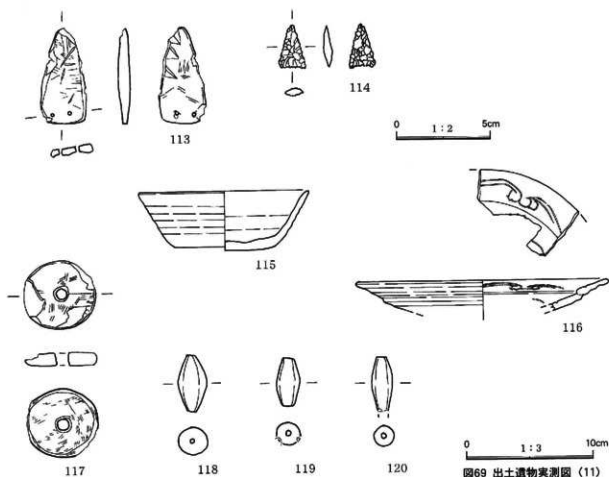
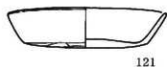
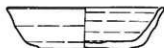


図69 出土遺物実測図 (11)

倉賀野下天神VI・下樋越II（駅北V）遺跡 5区

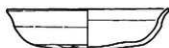


121



122

倉賀野下天神VI・下樋越II（駅北V）遺跡 6区



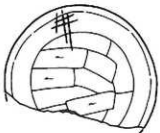
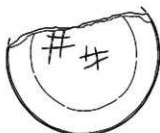
123



125



126



124



127



128



129



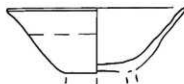
130



131



132



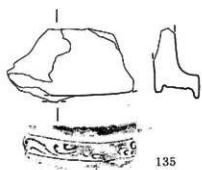
133



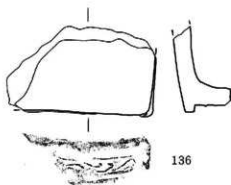
134

0 1:3 10cm

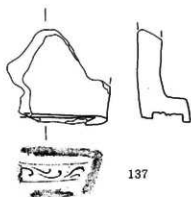
図70 出土遺物実測図 (12)



135



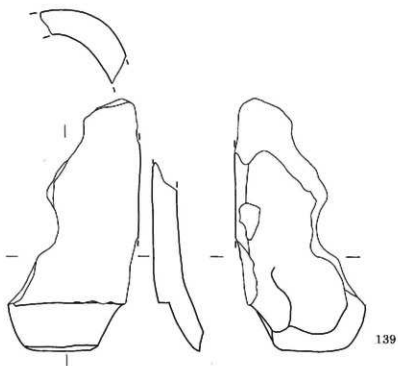
136



137



138



139

0 1 : 4 20cm

圖71 出土遺物実測図 (13)

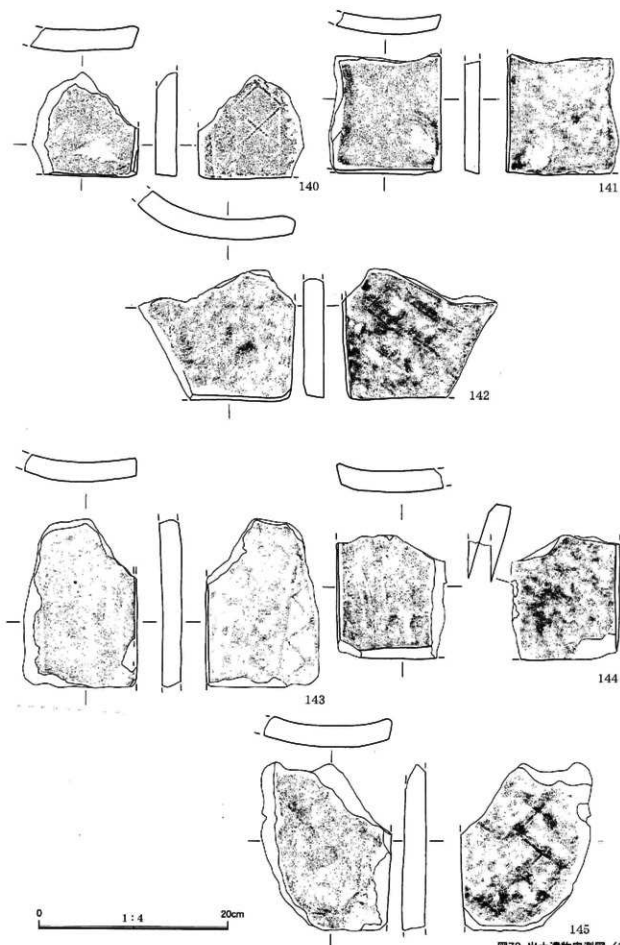


圖72 出土遺物実測圖 (14)

出土遺物観察表

発掘 番号	年 号	区 画	ト ン ン 号	出土 場所	形 種	出 土 量 (g)	色 調	部位、断割、接合、時期、その他
328	1	2		SD4	平瓦	表 28.9 底 14.5 厚 3.6	部:灰:灰色、断面: 灰色	部:ナデ、面取り、凸:棒子叩き、断割、断面:寛相、ナデ、横貫、
328	2	2		SD4	平瓦	表 12.5 底 12.2 厚 2.6	部:黒色、凸:灰白 色、断面:灰白色	部:寛相、ナデ、凸:棒子叩き、断割、断面:寛相、ナデ、横貫、
328	3	2		SD4	平瓦	表 10.8 底 11.7 厚 3.5	部:凸:灰白色、断 面:灰白色	部:寛相、ナデ、凸:棒子叩き、断割、断面:寛相、ナデ、横貫、
328	4	2		SD4	平瓦	表 10.8 底 8.0 厚 2.5	部:凸:黒色、断面: 灰白色	部:寛相、ナデ、凸:棒子叩き、断割、断面:寛相、ナデ、横貫、
336	5	3		SK56	丸瓦	表 23.6 底 14.2 厚 2.2 断面 14.0	灰色	外面:寛ナデ、内面:着目、13~14c
336	6	3		SK132	瓦山	表 12.9 底 4.5 厚 4.9	黄灰色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	7	3		SD98	瓦山	口径(17.8)	にぶい黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	8	3		SD98	瓦山	口径(21.1)	にぶい黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	9	3		SD97	瓦山	口径(12.0)	灰白色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	10	3		一般	瓦山	口径(18.2)	褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	11	4		SK144	一級	表 13.5 底 5.3 厚 1.6 断面 5.9	褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	12	4		SK151	一級	表 20.5 底 6.1 厚 0.7 断面 10.0	褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	13	4		SK151	瓦物	表 21.3 底 2.1 厚 0.5 断面 57.5	褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	14	4		SK158	瓦山	口径 12.8 底 5.1 厚 5.2	にぶい黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	15	4		SK158	瓦山	口径 13.3 底 4.0 厚 5.1	灰白色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	16	4		SK158	瓦山	口径 13.4 底 5.1 厚 5.7	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	17	4		SK158	瓦山	口径 13.4 底 5.3 厚 5.9	にぶい褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	18	4		SK158	瓦山	口径 10.4 底 3.9 厚 7.7	にぶい黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	19	4		SK161	瓦山	口径 12.4 底 5.0 厚 5.1	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	20	4		SK169	瓦山	口径 12.9 底 5.4 厚 5.1	灰白色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	21	4		SK169	瓦山	口径 13.3 底 5.1 厚 5.4	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	22	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	23	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	24	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	25	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	26	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	27	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	28	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	29	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	30	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	31	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	32	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	33	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	34	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	35	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	36	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	37	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後
336	38	4		SK169	瓦山	口径(16.0)	黄褐色	横断形、同軸赤きり、高台貼付け、やや小ぶり、断割、10c後

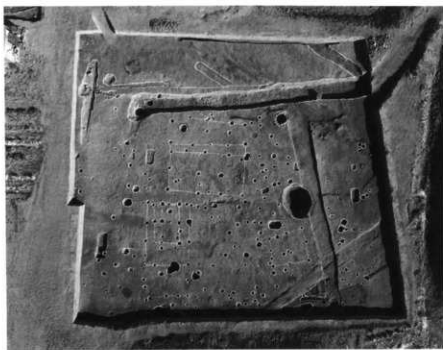
通称 番号	区	トレン ド	出土 場所	器 種	材 質	色 調	部位、図説、焼成、時期、その他
336 39		14レ	SD04	平瓦	長 9.4 幅 10.5	面:灰色、凸:灰色、 断面:灰色	面:右肩、凸:面周り、ナブ、断面:施削り、研瓦。
336 40	3	変換外	古銭	長 2.250 幅 2.275			天輪造寶
336 41	3	変換外	古銭	長 2.130 幅 2.185			寛永通寶
336 42	4	SK164	古銭	長 2.000 幅 2.000			赤銅造寶
336 43	9レ	SD15	古銭	長 2.605 幅 1.985			肥後寶
336 44	9レ	SD15	古銭	長 2.170 幅 2.170			伊勢造寶
336 45	9レ	SK17	古銭	長 2.130 幅 2.130			光緒通寶(古)
336 46	9レ	SK17	古銭	長 2.085 幅 2.075			光緒通寶
336 47	9レ	SK17	古銭	長 2.130 幅 2.145			元祐通寶
336 48	9レ	SK17	古銭	長 1.935 幅 1.925			赤銅造寶
336 49	9レ	SK17	古銭	長 2.135 幅 2.145			元豊通寶(藤)
336 50	9レ	SK17	古銭	長 1.965 幅 1.900			祥符通寶
336 51	9レ	SK20	古銭	長 2.170 幅 2.165			元祐通寶
336 52	9レ	SK20	古銭	長 2.170 幅 2.150			大觀通寶
336 53	9レ	SK20	古銭	長 2.190 幅 2.170			皇寧通寶
336 54	9レ	SK20	古銭	長 2.210 幅 2.210			永寧通寶
336 55	9レ	SK20	古銭	長 2.180 幅 2.180			宣和通寶
336 56	9レ	SK20	古銭	長 1.190 幅 1.190			治平通寶
336 57	9レ	SK20	古銭	長 2.125 幅 2.110			元豐通寶(古)
336 58	9レ	SK20	古銭	長 2.110 幅 2.120			聖宗通寶
336 59	9レ	SK26	古銭	長 2.090 幅 2.165			隆元通寶
336 60	9レ	FW1	古銭	長 2.165 幅 2.180			天祐通寶
336 61	10レ	SK12	古銭	長 2.050 幅 1.115			元祐通寶(真)
336 62	10レ	SK12	古銭	長 2.240 幅 2.270			元祐通寶(真)
336 63		変換	古銭	長 2.175 幅 2.235			寛永通寶
352 64	5	一節	土師環	口径12.3 器高3.1 底径8.4		にぶい、褐色	口縁:横ナブ、体部外面:指ナブ・隆ナブ、底部外面:龍削り、内面:ナブ、9c後。
352 65	5	一節	土師環	口径12.0 器高3.3 底径8.0		褐色	口縁:横ナブ、体部外面:指ナブ・隆ナブ、底部外面:龍削り、内面:ナブ、9c後。
352 66	5	一節	土師環	口径12.0 器高3.5 底径8.9		褐色	口縁:横ナブ、体部外面:指ナブ・隆ナブ、底部外面:龍削り、内面:ナブ、9c後。
352 67	5	一節	土師環	口径13.0 器高3.2 底径9.0		褐色	口縁:横ナブ、体部外面:指ナブ、底部外面:龍削り、内面:ナブ、9c中～後。
352 68	5	一節	土師環	口径11.4 器高3.5 底径7.0		にぶい、褐色	口縁:横ナブ、体部外面:指ナブ、底部外面:龍削り、内面:ナブ、9c前～中。
352 69	5	一節	須恵環	口径13.5 器高3.1 底径7.0		灰白色	輪縁型、面転り、中性灰焼成、10c代。
352 70	5	一節	須恵環	口径12.0 器高3.9 底径5.3		灰色	輪縁型、面転り、還元灰焼成、9c後。
352 71	5	一節	須恵環	口径13.4 器高4.3 底径6.0		灰白色	輪縁型、面転り、10c初。
352 72	5	一節	須恵環	口径13.0 器高4.0 底径5.7		灰黄色	輪縁型、面転り、焼きがよい、10c初。
352 73	5	一節	須恵環	口径12.0 器高3.5 底径5.4		灰白色	輪縁型、面転り、中性灰焼成、10c初。
352 74	5	一節	須恵環	口径13.0 器高3.4 底径5.4		灰黄色	輪縁型、面転り、高台貼付け、還元灰焼成、8c末～9c初。
352 75	5	一節	須恵環	口径12.4 器高3.1 底径6.6		黄灰色	輪縁型、面転り、研瓦、還元灰焼成、9c前。
352 76	5	一節	須恵環	口径12.0 器高4.3 底径5.4		灰白色	輪縁型、面転り、高台なし、酸化灰焼成、9c前～中。
352 77	5	一節	須恵環	口径14.1 器高5.7 底径6.5		灰白色	輪縁型、面転り、高台貼付け、中性灰焼成、10c前。
352 78	5	一節	須恵環	口径14.5 器高5.3 底径7.1		にぶい、黄褐色	輪縁型、面転り、高台貼付け、黄台に丸みあり、10c初。
352 79	5	一節	須恵環	口径13.2 器高5.4 底径7.8		にぶい、黄褐色	輪縁型、面転り、高台貼付け、10c前。
352 80	5	一節	須恵環	口径14.0 器高5.3 底径7.0		灰白色	輪縁型、面転り、高台貼付け、還元灰焼成、10c初。
352 81	5	一節	須恵環	口径14.0 器高5.3 底径7.0		明確灰色	輪縁型、面転り、高台貼付け、酸化灰焼成、10c代。
352 82	5	一節	須恵環	口径14.6		褐色	輪縁型、面転り、高台貼付け、研瓦、還元灰焼成、10c初。

通称 番号	区	トン シ	出工 場所	種 類	容 積 (m ³)	色 調	部材、開数、造成、時期、その他
352 83	5		一橋	演習場	口径14.0 高さ 3.0 底径 0.40	灰色	軸組型。回転向き。高台貼付け。還元炭焼成。9c後～未
352 84	5		一橋	演習場	口径14.0 高さ 3.0 底径 0.6	にぶい褐色	軸組型。回転向き。高台貼付け。焼きが甘い。還元炭焼成。9c末～10c初
352 85	5		一橋	演習場	口径14.0 高さ 2.9 底径 0.74	にぶい褐色	軸組型。回転向き。高台貼付け。焼きが甘い。還元炭焼成。9c末～11c初
352 86	5		一橋	演習場	口径21.0 高さ11.30 底径 0.40	黄灰色	口縁部・やや内縁。野・しっしめ。胴部外周・軸組向き。10c前
352 87	5		S102	土蔵	口径14.6 高さ 3.1 底径 0.6	にぶい黄褐色	
352 88	6		SK1	塙	口径12.1 高さ 3.6 底径 7.3	灰白色	灰陶陶器。軸組型。回転向き。高台貼付け。灰陶に掛け付け。高台にやや丸み有り。体部下半・造形。10c後
352 89	6		Plc1	土師器	口径12.4 高さ 3.2 底径 7.3	褐色	口縁・横ナズ。体部外面・ナズ。底面外面・造形。内面・造形。9c末
352 90	6		Plc1	土師器	口径12.4 高さ 3.2 底径 7.3	明赤褐色	口縁・横ナズ。体部外面・造形・ナズ。底面外面・造形。内面・造形。9c末
352 91	6		Plc1	土師器	口径12.6 高さ 3.2 底径 8.0	明褐色	口縁・横ナズ。体部外面・造形・ナズ。底面外面・造形。内面・造形。9c後～10c初
352 92	6		Plc1	土師器	口径11.9 高さ 3.3 底径 8.0	明赤褐色	口縁・横ナズ。体部外面・造形・ナズ。底面外面・造形。内面・造形。9c前～中
352 93	6		Plc1	土師器	口径12.4 高さ 3.2 底径 7.2	にぶい褐色	口縁・横ナズ。体部外面・造形・ナズ。底面外面・造形。内面・ナズ。9c後
352 94	6		Plc1	土師器	口径12.1 高さ 3.1 底径 8.1	にぶい褐色	口縁部・横ナズ。体部外面・造形・ナズ。底面外面・造形。内面・横ナズ。ナズ。9c後
352 95	6		Plc1	土師器	口径12.6 高さ 3.3 底径 8.0	黄褐色	軸組型。回転向き。9c代
352 96	6		Plc1	演習場	口径12.2 高さ 4.3 底径 6.6	灰褐色	軸組型。回転向き。外面・黒色処理。還元炭焼成。9c後
352 97	6		Plc1	演習場	口径15.3 高さ 6.6 底径 8.4	にぶい黄褐色	軸組型。回転向き。高台貼付け。10c前
352 98	6		一橋	演習場	口径12.2 高さ 4.0 底径 6.4	黒色	黒色土器。軸組型。回転向き。体部・軸組向き。内・外面とも黒色処理。
352 99	6		一橋	演習場	口径11.0 高さ 3.8 底径 6.0	黒色	軸組型。回転向き。10c前・硬質。
352 100	6		一橋	演習場	口径12.5 高さ 3.4 底径 7.1	乳白色	軸組型。回転向き。
352 101	6		一橋	演習場	口径14.1 高さ 3.5 底径 7.6	黄灰色	軸組型。回転向き。高台貼付け。高台はしっしめした台形。9c後
352 102	6		一橋	演習場	口径12.5 高さ 3.1 底径 7.5	灰白色	軸組型。回転向き。高台貼付け。口縁部・やや外縁。焼きが甘い。10c前
352 103	6		一橋	土蔵	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	にぶい赤褐色	
352 104	6		Plc1	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	浅黄褐色	軸組型。回転向き。還元炭焼成。9c後
352 105	6		Plc1	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	黄褐色	軸組型。回転向き。高台貼付け。焼きが甘い。10c前
352 106	6		SD03	土蔵	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	にぶい褐色	
352 107	6		一橋	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	黄褐色	軸組型。回転向き。高台貼付け。高台はしっしめした台形。硬質。還元炭焼成。9c後
352 108	10		一橋	土蔵	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	にぶい褐色	
352 109	11		一橋	石臼	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	黄褐色	丸型。上口。硬質。
352 110	13		SD03	内耳輪	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	黒褐色	軟質陶器。内耳有り。体部外面・軸組型。底面・造形。内面・軸組型。造形が甘い。15c
352 111	13		一橋	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	黄褐色	軸組型。回転向き。高台貼付け。10c前～後
352 112	13		一橋	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	灰白色	軸組型。回転向き。高台貼付け。焼きが甘い。10c前
352 113	4		SD06	剣形	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0		剣形石製板製品
352 114	4		SD09	石蔵	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0		
352 115	4	2面	一橋	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	灰白色	軸組型。底面・造形。8c代
352 116	4	2面	一橋	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	灰白色	灰陶陶器。底面・造形。口縁に設け。9c代
352 117	4		一橋	演習場	口径12.0 高さ 3.7 底径 8.0	にぶい黄褐色	

品目 番号	品 名	尺 寸	ト レ ン チ	出 土 場 所	種 類	注 意 点 (cm)	色 調	部位、調成、焼成、時期、その他
362	118	4		一跡	土甎	長 4.3 幅 2.3 厚 0.3 重 16.7g	にぶい褐色	
362	119	4		一跡	土甎	長 3.8 幅 1.8 厚 0.5 重 (11.4g)	にぶい褐色	
362	120	4		一跡	土甎	長 4.0 幅 1.6 厚 0.4 重 (9.6g)	にぶい褐色	
362	121	5		一跡	土師甎	口径 12.4 胎高 3.1 底径 9.9	明赤褐色	口縁：横ナズ。体部外面：ナズ。底部外面：亀割り。内面：ナズ。9c前
362	122	5		一跡	土師甎	口径 12.3 胎高 3.4 底径 7.1	灰白色	横割型。回転みきり。高台なし。9c前
362	123	6		S801	土師甎	口径 12.0 胎高 3.3 底径 8.5	褐色	口縁：横ナズ。体部外面：ナズ。底部外面：亀割り。内面：ナズ。9c前
362	124	6		S801	土師甎	口径 12.0 胎高 3.2 底径 8.5	にぶい褐色	口縁：横ナズ。体部外面：ナズ。底部外面：亀割り。内面：ナズ。縁刻有り。9c前～中
362	125	6		S802	土甎	長 4.7 幅 1.6 厚 0.4 重 11.8g	灰黄褐色	
362	126	6		S803	土甎	口径 13.0 胎高 3.1 底径 7.6	黄灰色	横割型。回転みきり。高台貼付け。10c前
362	127	6		Pw5	土甎	長 4.9 幅 2.6 厚 0.4 重 28.4g	灰黄褐色	
362	128	6		Pw5	土甎	長 4.2 幅 1.7 厚 0.3 重 11.1g	黒色	
362	129	6		Pw5	土甎	長 4.5 幅 1.7 厚 0.3 重 (11.8g)	灰褐色	
362	130	6		Pw13	土甎	長 3.9 幅 1.6 厚 0.3 重 (9.0g)	にぶい赤褐色	
362	131	6		一跡	土師甎	口径 12.4 胎高 2.9 底径 8.5	明赤褐色	口縁部：横ナズ。体部外面：挖削さえ。底部外面：亀割り。内面：ナズ。9c後
362	132	6		一跡	土師甎	口径 13.9 胎高 5.1 底径 9.2	にぶい黄褐色	横割型。回転みきり。高台貼付け。つくりが粗雑。10c代
362	133	6		一跡	土師甎	口径 14.2	内面：灰白色 外面：明褐色	横割型。回転みきり。高台貼付け。つくりが粗雑。体部外面に傷。10c代
362	134	6		一跡	土師甎	口径 12.4 胎高 4.0 底径 8.0	にぶい黄褐色	横割型。回転みきり。高台貼付け。つくりが粗雑。小ぶり。胎成・焼成不明。10c代
328	135	2		SD04	軒平瓦	厚 2.1	面：白・灰褐色。断面：にぶい褐色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。作成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	136	2		SD04	軒平瓦	厚 1.9	面：灰色。凸：黒色。断面：にぶい褐色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。一体成型。面：亀割り。ナズ。有目。凸：亀割り。ナズ。
328	137	2		SD04	軒平瓦	厚 2.4	面：白・灰色。断面：灰白色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	138	2		SD04	軒平瓦	厚 2.0	面：灰色。凸：黒色。断面：灰白色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	139	2		SD04	丸瓦	厚 2.1	面：白・灰色。断面：灰白色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	140	2		SD04	平瓦	厚 1.7	面：灰色。凸：褐色。断面：灰褐色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	141	2		SD04	平瓦	厚 1.8	面：灰色。凸：褐色。断面：灰褐色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	142	2		SD04	平瓦	厚 2.0	面：灰色。凸：灰白色。断面：灰白色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	143	2		SD04	平瓦	厚 2.1	面：灰色。凸：灰色。断面：灰白色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	144	2		SD04	平瓦	厚 2.0	面：白・灰色。断面：灰白色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。
328	145	2		SD04	平瓦	厚 2.3	面：白・灰色。断面：灰白色	胎土：埴輪砂。焼成：良好。瓦当文：蓮華文。均正唐草文。貼付け成型。面：凸面：亀割り。ナズ。



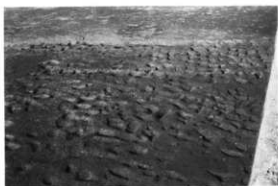
320 調査区 全景 (上が北)



336 調査区 全景 (上が北)



336 調査区 全景 (上が北)



320 跡 痕 (南から)



320 S D 1 (東から)



320 S K 1 (南から)



328 1区 B水田と畦畔 (北西から)



328 2区 SD 4 全景 (西から)



328 2区 SD 4 石・瓦 (北から)



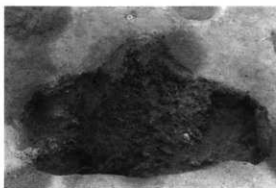
328 2区 SD6 全景 (北西から)



336 4区 S D 39



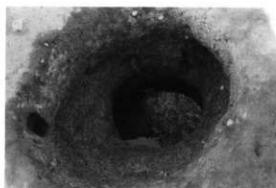
336 3区 SD8 集石 (西から)



336 3区 SK120 (西から)



336 4区 SE3 (東から)



336 3区 SE2 (東から)



336 3区9トレ全景 (西から)



336 3区10トレ全景 (東から)



336 3区 11トレSD14集石



336 3区12トレSD24 (東から)



336 3区13トレ 全景 (北から)



336 14トレ 全景



352 5区 D 全景 (西から)



336 4区 SE3 (東から)



352 1区 全景 (南から)



352 5区 全景 (西から)



352 5区 築石 (北から)



352 6区 S I 全景 (南から)



352 6区 S I かまど (南から)



352 7区 A区 全景 (南から)



352 7区 B・C区 全景 (東から)



352 8区 A区 全景 (西から)



352 8区 B区 全景 (北から)



352 11区 全景 (東から)



352 13区 7トレ 全景 (西から)



352 13区 8トレ 全景 (西から)



352 8区 E区 全景 (北から)



362 1区 SD1 全景 (東から)



362 4区 SD11 (北東から)



362 6区 全景 (南から)



362 6区 全景 (南から)



362 6区 S13 (北から)



362 4区 SD9 (西から)



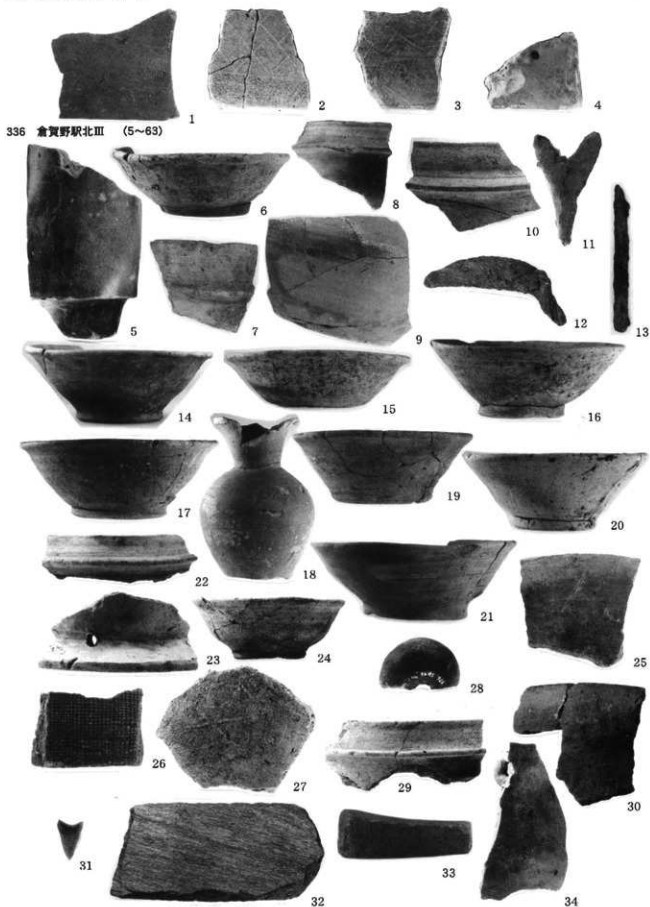
370 2区 北半分 (西から)

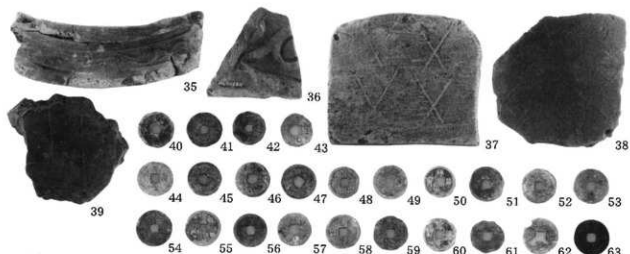


370 2区 南半分 (北から)

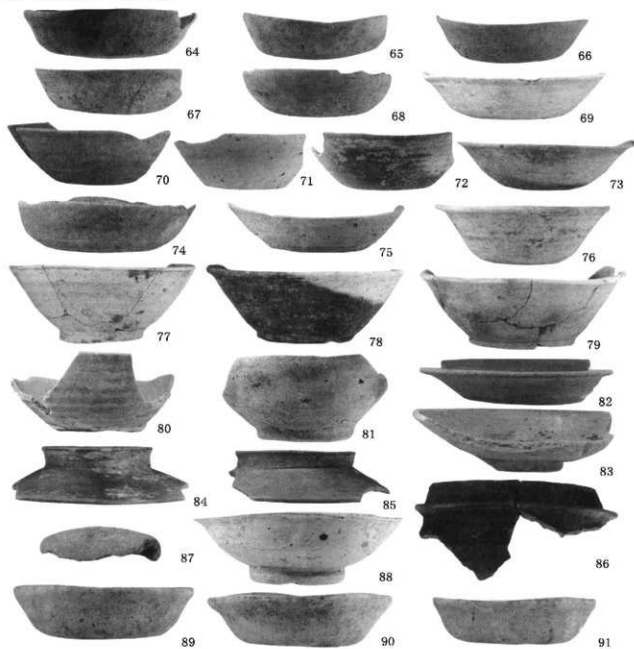


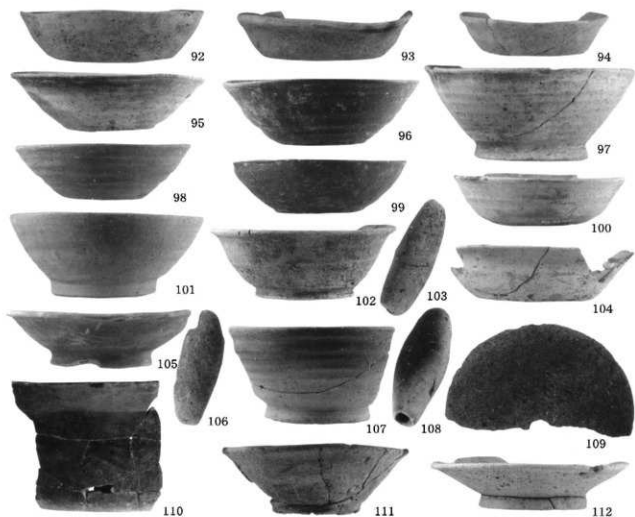
370 2区 SD3 (西から)



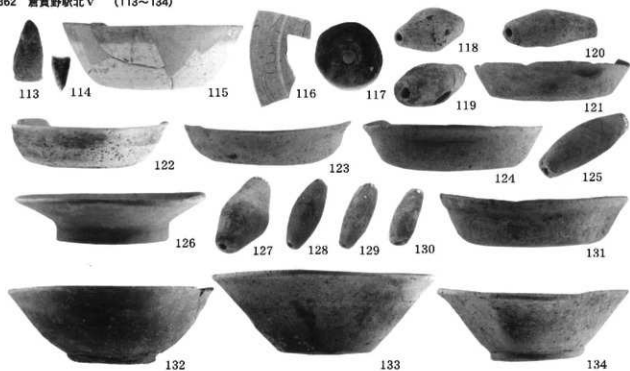


352 倉賀野駅北IV (64~112)





362 倉賀野駅北V (113~134)



報告書抄録

フリガナ	クラガノエキキタ1・2・3・4・5・6イセキ
書名	倉賀野駅北Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ遺跡
副書名	倉賀野駅北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書
シリーズ番号	第202号
編著者名	吉田昌利・神澤久幸
発行機関	高崎市教育委員会
所在地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1
発行年月日	平成18年3月31日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
くらがのエキキタ 倉賀野駅北Ⅰ・ Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・ Ⅵ遺跡	たかぎしきくらがのエキ 高崎市倉賀野町	102020	320 (Ⅰ)	36° 18' 03" ^{IV}	139° 03' 14" ^{VI}	1997. 11. 25 ~ 2003. 3. 31	延べ 7,538㎡	道路建設
			328 (Ⅱ)					
			336 (Ⅲ)					
			352 (Ⅵ)					
			362 (Ⅴ)					
			370 (Ⅳ)					

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺跡	主な遺物	特記事項
倉賀野駅北Ⅰ・ Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・ Ⅵ遺跡	館址	中世	堀跡、掘立柱建物跡	瓦	
	集落	奈良・平安	井戸跡		
	生産址	平安	竈穴住居		
	祭祀	古墳	水田跡 集石遺構		

高崎市文化財調査報告書第202集
倉賀野駅北Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ遺跡

印刷日 平成18年3月31日
発行日 平成18年3月31日
編 集 高崎市教育委員会
文化財保護課埋蔵文化財担当
発 行 高崎市教育委員会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
電話 027(321)1111
印 刷 株式会社 山口美術印刷
群馬県高崎市新後閑町13-6
電話 027(322)5021